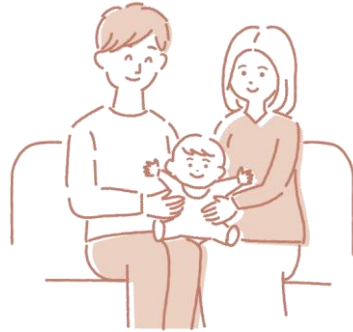
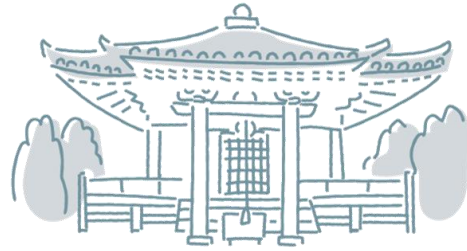


誰にでも
やさしく、
活力あふれる
“ほっと”
松島



松島町
長期総合計画

2026-2035

令和8年3月

松島町

松島町長期総合計画

[2026-2035]

誰にでもやさしく、活力あふれる“ほっと”松島

誰にでもやさしく、活力あふれる “ほっと”松島

の実現に向けて

松島町は、古来より多くの人々を魅了してきた日本三景・松島の絶景、脈々と受け継がれてきた歴史と文化、そして何より、この地で営まれる人々の温かい暮らしが調和する、私たちのかけがえのない故郷です。先人たちが大切に育んできたこの豊かな地域の宝を、私たちも誇りを持って次の世代へ受け継いでいきたいと思えます。

しかしながら、現在、私たちは大きな時代の転換点に立っています。人口減少や少子高齢化の進行は地域社会のあり方に変化をもたらし、頻発・激甚化する自然災害への備えや、観光ニーズの多様化など、解決すべき課題は複雑かつ多岐にわたります。

こうした時代の変化をしっかりと見据え、さまざまな課題に一つひとつ向き合いながら、希望ある未来をひらいていくために、本町では新たな長期総合計画を策定し、町の将来像を、「誰にでもやさしく、活力あふれる“ほっと”松島」としました。

この言葉には、誰もが心から安らげる居心地の良い「ほっとする」まちでありたいという願いと、地域全体が熱気と活力に満ちた「HOT（ホット）」なまちでありたいという、二つの強い決意を込めています。

この将来像の実現に向け、私たちは具体的な施策を力強く推進してまいります。



松島町長 櫻井 公一

まず、「誰にでもやさしく」あるために、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる福祉と医療の充実を図ります。同時に、防災・減災対策を強化し、命と暮らしを守る安全・安心なまちづくりを進めます。

また、「活力あふれる」まちであるために、子どもや若者が夢と希望を持てる教育・子育て環境を充実させるとともに、基幹産業である観光業の質の向上や地域産業の振興に加え、新たな産業拠点を生み出し、持続可能な地域経済の好循環を創出してまいります。そして、松島ならではの美しい景観と環境を守り育て、世界に誇れる魅力を、さらに磨いていきたいと考えています。

計画の推進にあたっては、行政だけの力では成し得ません。町民の皆さま、事業者や各団体の皆さまとの「協働」こそが、まちづくりの最大の原動力です。

皆さまの声にしっかりと耳を傾け、対話を大切にしながら、取り組みの成果や課題を確かめ、より良い施策へと育てていきます。

結びに、本計画の策定にあたりましてご尽力を賜りました、松島町総合計画審議会、松島町まちづくり検討委員会、松島町議会の皆さまをはじめ、アンケート調査等において貴重なご意見をいただきました町民の皆さまにこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

目次

はじめに 5

第1章 総合計画について..... 6

第2章 松島町を取り巻く状況..... 10

第3章 現状・課題の整理..... 20

基本構想 27

第1章 まちづくりの基本的な考え方..... 28

第2章 将来像..... 29

第3章 将来人口の展望..... 30

第4章 重点戦略..... 31

第5章 まちづくりの方向性..... 32

基本計画 39

1 松島の基盤をつくる

分野1 居住環境..... 40

分野2 公共交通..... 42

分野3 道路環境..... 44

分野4 公園・緑地..... 46

分野5 上水道・下水道..... 48

2 松島の人と自然を守る

分野6 自然環境保全..... 50

分野7 交通安全・防犯..... 52

分野8 消防・防災..... 54

3 松島の人々を支える

分野9 地域福祉・社会保障..... 56

分野10 保健・医療..... 58

分野11 子ども・子育て支援..... 60

分野12 高齢者福祉・介護予防..... 62

分野13 障がい者（児）福祉..... 64

4 松島人を育む

分野14 学校教育..... 66

分野15 生涯学習・生涯スポーツ..... 68

分野16 文化財保護・文化遺産..... 70

5 松島の活力を生み出す

分野17 農林水産業..... 72

分野18 商工業..... 74

分野19 観光業..... 76

分野20 企業誘致..... 78

6 松島のまちづくりの仕組みをつくる

分野21 定住促進..... 80

分野22 住民参加・地域コミュニティ... 82

分野23 行財政..... 84

重点戦略 87

第1章 重点戦略の概要..... 88

第2章 重点戦略の展開..... 92

資料編 97

1 用語解説..... 98

2 計画の策定経過..... 100

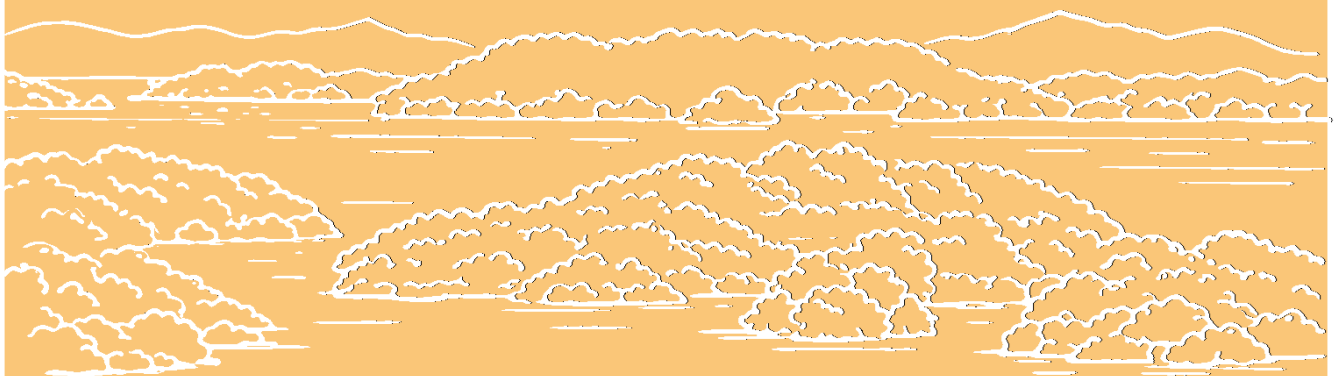
3 松島町総合計画審議会..... 102

4 松島町まちづくり検討委員会..... 103

※本文中では、用語解説（P98・99）に掲載している用語に「*」をつけています。

第 1 部

はじめに



第1章

総合計画について

1 総合計画と策定の趣旨

総合計画は「まちづくりの道しるべ」です

どんな
計画？

総合計画とは、地方自治体が行政運営を行う上で、共通の目標や長期的な視点に立って目指すべき方向性を定め、その実現に向けた具体的な施策を示す、行政運営の基盤となる計画です。また、福祉、医療、環境、教育等、町民の生活に関わるあらゆる分野を包括的に扱った、「まちづくり^{*}の道しるべ」になります。

なぜ計画を
つくるの？

松島町では令和8年度からの新しい計画をつくりま

松島町では、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とした「松島町長期総合計画」（以下「前計画」という。）を策定しました。

前計画では「歴史・文化の継承と創造」の基本理念のもと、まちの将来像を「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち松島」として、各分野の施策に取り組んできました。

松島町におけるこれからの行政運営においては、前計画に基づき実施してきた施策の成果・課題を評価するとともに、昨今における時代の潮流や変化、さらには松島町を取り巻く課題を的確に把握し、将来的視点と展望に立ったまちづくりの方向性と松島町の進むべき目標を示していくことが重要となります。これらを踏まえ、松島町を次世代に引き継ぐ計画として、「松島町長期総合計画（2026-2035）（以下「本計画」という。）」を策定しました。



※まちづくり…地域にある人・もの・場所を活かして、町民や行政などさまざまな人たちが手を取り合い、暮らしやすい環境をつくり、まちをより元気で魅力あるものにする取組のこと

2 計画の構成・期間

どんな
構成？

総合計画は3階層で構成されます

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3階層で構成されています。

計画期間は、令和8年度から令和17年度までとなっています。

基本構想

- ・ 松島町の特性や町民意向、社会潮流等を勘案し、まちづくりの将来像と、それを実現するための基本目標を示します
計画期間10年（令和8年度～令和17年度）、改訂版人口ビジョンを含む

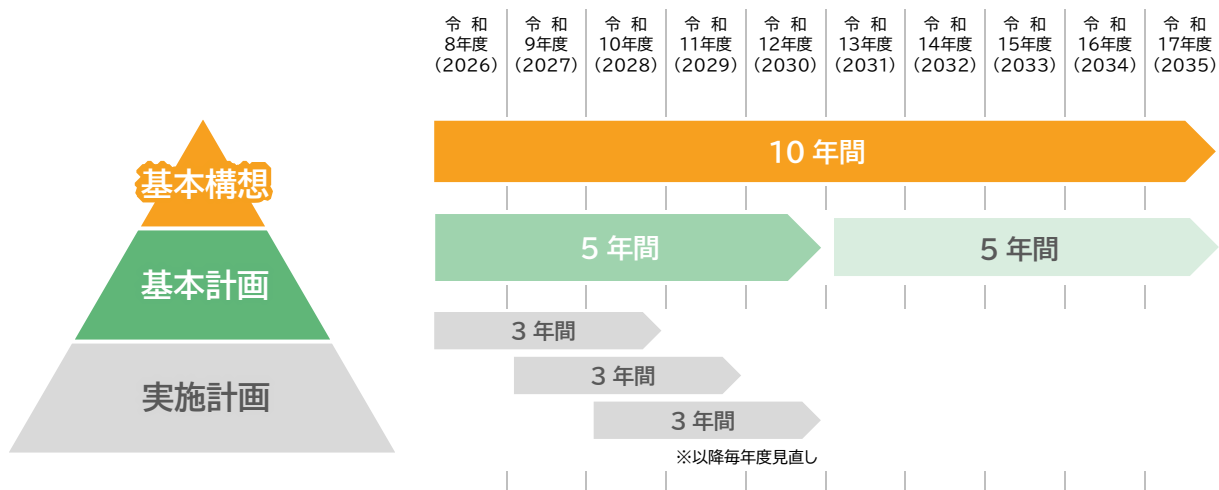
基本計画

- ・ 基本構想に基づき、前後期5年間に取り組む主要施策等を各分野で体系的に定めます
計画期間10年で、5年後に中間見直し
（前期基本計画：令和8年度～令和12年度、後期基本計画：令和13年度～令和17年度）
改訂版総合戦略（重点戦略）を含む

実施計画

- ・ 基本計画で定められた施策を事務事業として位置付けます
計画期間3年で、毎年見直し

計画の構成

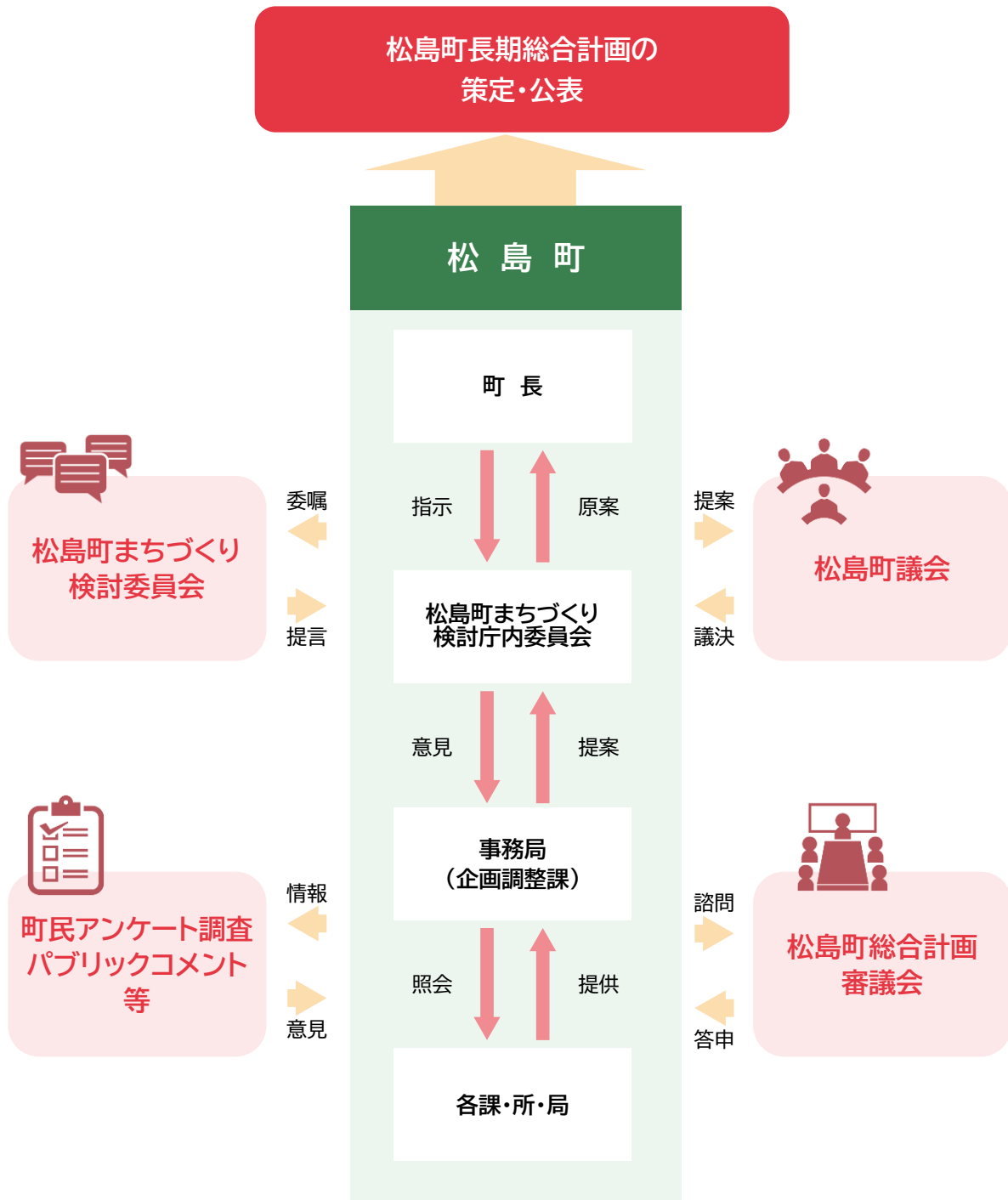


3 計画の策定体制



町民の皆さんの意見やアイデアを聞きながら計画をつくりました

この計画は、町民の皆さんの「まちづくりへのご意見・アイデア」を参考にしながら、町民の皆さんと一緒に共有し、行政内部で「計画内容」を取りまとめ、総合計画審議会での「審議」と議会の「議決」を経て、町民・行政が一丸となって策定しました。



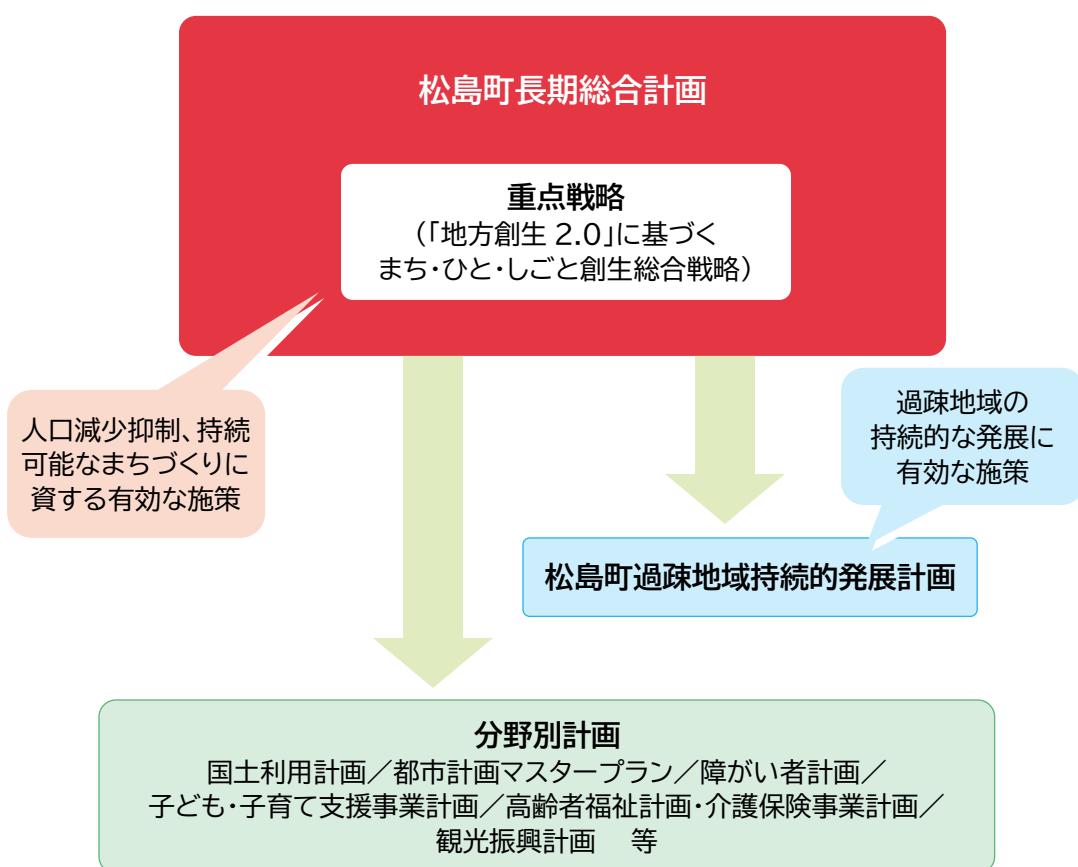
4 計画の位置付け

どんな
位置付け？

総合計画は町の「最上位」の計画です

総合計画は、まちづくりのあらゆる分野を網羅し、将来における松島町のあるべき姿と進むべき方向についての指針となり、行政運営を総合的かつ計画的に進めるための最上位計画です。

分野別計画は、最上位計画である総合計画に即して取り組む特定の施策分野に関する個別計画となり、対象となる施策分野の将来像や目標を掲げ、その実現に向けた具体的な取組等を明らかにしていきます。



第2章

松島町を取り巻く状況

1 社会潮流

1 人口減少・少子高齢化の進行

人口減少・少子高齢化の進行

- 日本の人口減少は老年人口も減る構造変化を伴い、加速していくことが見込まれ、より一層の労働力低下や消費の縮小が懸念されます。また、「団塊ジュニア世代*」（1971～1974年生まれ）が65歳以上となり、高齢者数がピークに達するといわれる2040年問題への対策が急務であり、国と地方が協力して減少抑制や交流人口拡大、安心して暮らせる地域づくりを進めることが重要です。

若者世代の首都圏への集中と地方への高い関心、「総活躍社会」の創造

- 地方では若者の都市流出が続くことが予想されることから、地域活力の維持には魅力ある環境づくりが重要です。人口減少社会では、性別や年齢、立場を問わず誰もが活躍できる「総活躍社会」の実現が求められています。



2 安全・安心を脅かすリスクの高まり

自然災害の頻発化・激甚化

- 集中豪雨や台風及び地震等の自然災害の頻発化・激甚化によって、日に日に危機が増していく中、被害の最小化と迅速な回復体制の整備が重要となり、行政が中心となりながら、町民・事業者が各々の役割を担い連携し、地域の安全性向上と安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが求められています。



新興感染症*拡大の影響

- 新型コロナウイルス感染拡大は世界規模での未曾有の災害となり、社会・経済・価値観に甚大な影響を及ぼしました。今後は感染防止と社会経済活動の両立を図り、変化に柔軟に対応しながら新たな経済社会の実現を目指すことが求められています。



3 価値観の変化・多様化

人生100年時代の到来

- 医療の発達と健康意識の向上等によって平均寿命が長くなり、今後国内では人生100年時代を迎えていく中で、生涯にわたり活躍できる社会が求められています。

共生社会の形成

- 多様化が進む社会では、互いを尊重する共生社会の実現と、誰もが活躍できる環境づくりが重要です。また、孤独解消や人と人とのつながりの強化、幸福度や生産性向上を目指した社会形成が重要となります。

働き方の多様化

- 生産年齢人口の減少で働き手不足が懸念される中、誰もが働きがいを持てる働き方の実現が重要です。働き方改革や、新しい生活様式の普及により、リモートワーク等、多様な働き方を柔軟に取り入れた職場環境づくりが重要となります。



4 技術革新（イノベーション）、国際化等による社会の変革

脱炭素社会*への移行

- 世界規模で問題となっている地球温暖化対策のため、地域資源を有効活用した再生可能エネルギーの導入等を通して、脱炭素社会の実現に向けた取組が必要となっています。

デジタル社会の形成に向けた変革

- ICT*やデジタル技術の飛躍的な進展により、経済活動や社会生活のあり方が根本から変わりつつあります。行政が取り組むデジタル化は、単純に住民サービスや業務効率の向上だけでなく、町民全員がデジタル化の恩恵が受けられ、誰一人取り残されないデジタル社会の構築が求められています。

SDGsを見据えた取組

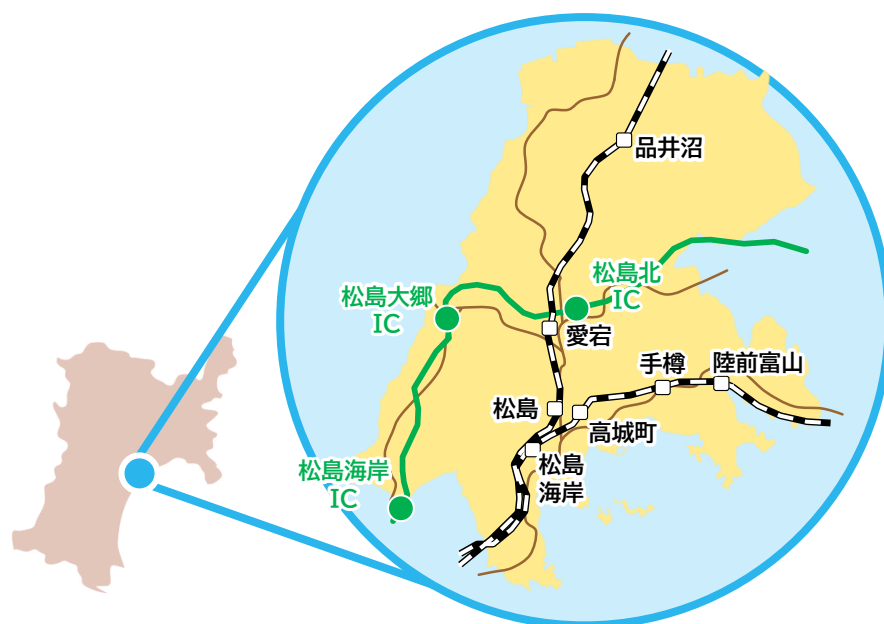
- 2015年に17の目標で構成されるSDGsが国連総会で採択されて以降、2030年の達成に向け世界が取り組んでいます。この目標を達成するには、経済成長、健康、気候変動等、多分野に及び、持続可能な社会の実現には一人ひとりの主体的な行動が重要となります。



2 松島町の概況

地理的状況

- ・松島町は宮城県沿岸部中央で5つの市町に隣接しており（東は東松島市、西は宮城郡利府町及び黒川郡大郷町、北は大崎市、南は松島湾をへだてて塩竈市浦戸諸島）、仙台市と石巻市のほぼ中間に位置し、仙台都市圏の外縁部に当たっています。
- ・交通は、国道45号や346号、三陸縦貫自動車道、主要地方道仙台松島線、大和松島線、奥松島松島公園線等、多方面へのアクセスが良いことに加え、町内には東西南北に縦横断するJR仙石線とJR東北本線が7駅とインターチェンジが2箇所あり、道路交通の便に恵まれています。



自然の状況

- ・町土の面積は53.56km²で、北東から南西に横に長く、南北約10.5km、東西約9kmとなっています。西南部から中央部にかけて松島丘陵が伸び、その北端には吉田川、鳴瀬川が東流して石巻湾に注いでいます。
- ・また、町内を南北に高城川が流れ、河口部の低地には住宅地が広がっています。南部は大小260余の島々が点在する松島湾に面しています。松の緑を添えて点在する島々は、波浪の侵食と風化作用によって珍奇な姿を形づくり、1年を通じて様々な景観を呈しており、眺望、景観の良さから、古くから日本三景の一つとして知られ、東北地方の代表的な観光地となっています。
- ・気候は、太平洋側気候に属し、年間平均気温が11℃から12℃で比較的温暖な気候で、東北地方でも降雪量は少ないまちとなっています。

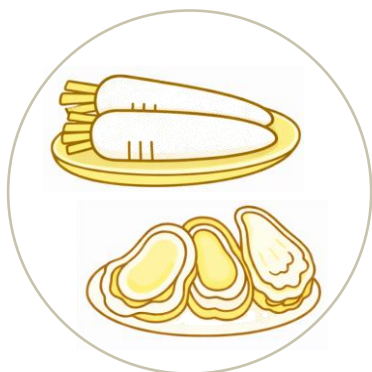
観光・文化の状況

- ・松島町は、国の特別名勝並びに県立自然公園に指定されており、年間約300万人の観光客が訪れ、国宝瑞巖寺や国指定重要文化財の五大堂等、数々の歴史的風土を有することから、これらの保全を優先しつつ、旅行形態の多様化が求められる観光需要に対応可能な高水準機能を有する国際観光都市を目指した取組を進めています。
- ・松島町の観光入込客数は、令和2年に流行した新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しましたが、令和5年は新型コロナウイルス感染症の流行前と同水準まで回復しました。令和6年には年間300万人超となっており、現在は増加傾向にあります。



産業・経済の状況

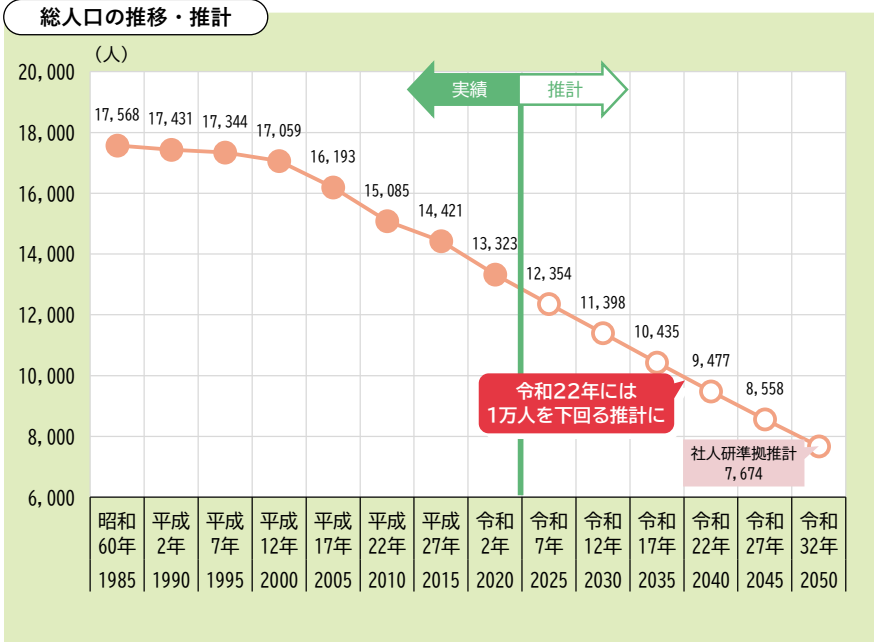
- ・産業は、観光業を主体とし、このほかでは農業、水産業、商業が基幹産業となっています。
- ・農業は、農業振興地域の保全と生産基盤の確立に向けて、農業経営近代化、生産組織の育成強化を図っています。
- ・水産業は、海水温の上昇や、シロボヤ等の被害からのカキ養殖事業の再生、アサリ増殖事業の拡大等、浅海養殖漁業の振興を図るとともに、漁業後継者の育成支援に努めています。
- ・商業は、消費者ニーズの変化や行動範囲の拡大により環境条件は著しく変化しており、これに対応するため、商店街の活性化や中小企業に対する支援等の取組を進めています。



3 人口や産業等の状況

(1) 総人口

人口は減少傾向。令和22年には10,000人以下に



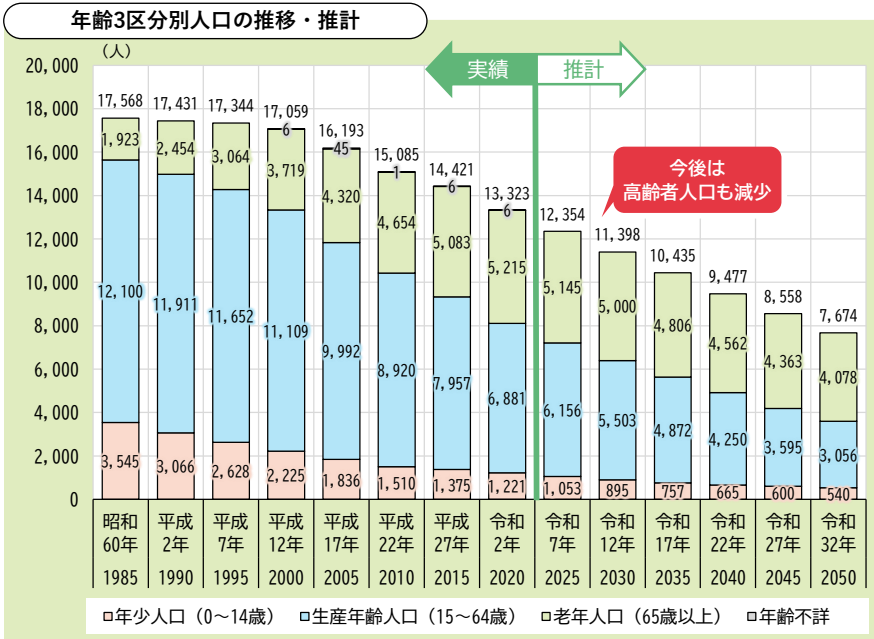
・松島町においても人口減少及び少子化の問題が深刻になっています。松島町では、人口が減少の一途をたどり、令和2年には13,323人となっています。

・また、今後も人口減少が進むとされており、令和22年には10,000人を下回ることが推測されています。

※推計値は令和2年の松島町の国勢調査を基に令和7年分から推計したもの
 出典:実績値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所(社人研)*公表の将来推計に基づいた推計

(2) 年齢3区分別人口

少子高齢化が進んでいるが、今後は高齢者人口も減少するフェーズに



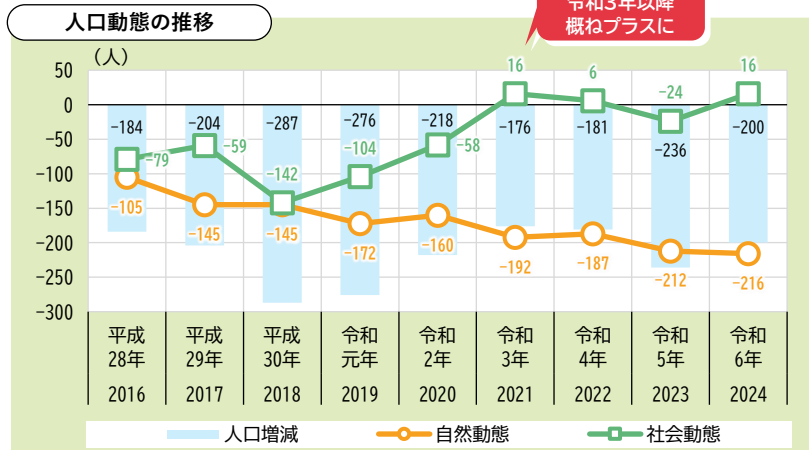
・生産年齢人口(15~64歳)と年少人口(15歳未満)が減少しつつあります。老年人口(65歳以上)は増加傾向にありましたが、今後は高齢者人口も減少する見込みです。

※推計値は令和2年の松島町の国勢調査を基に令和7年分から推計したもの
 出典:実績値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所(社人研)*公表の将来推計に基づいた推計

(3) 人口動態

自然動態は減少の一方、社会動態はプラスに転じる

・自然動態（出生と死亡の差）は常にマイナスで推移しています。社会動態（転入と転出の差）は平成28年以降マイナスで推移していましたが、令和3年以降は概ねプラス傾向にあります。

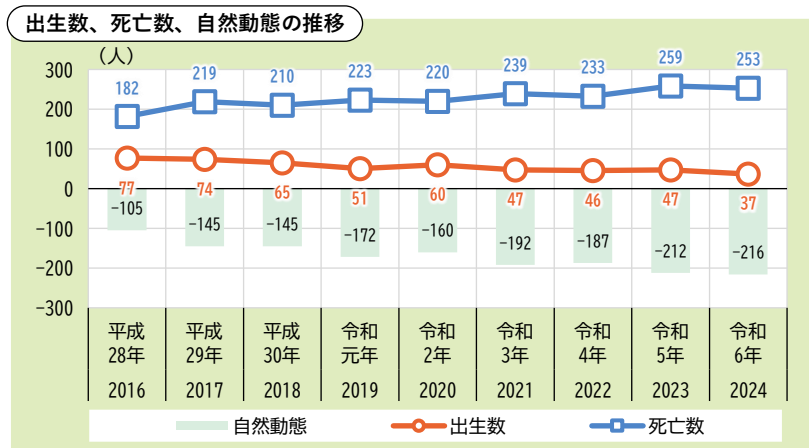


資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態、世帯数(総務省)
注)各年12月31日現在データ

(4) 出生数、死亡数、自然動態

出生数は減少、死亡数は微増で推移

・出生数は減少傾向にあり、令和6年には平成28年の半数となっています。一方で、死亡数は平成29年以降200人台で推移しており、微増傾向にあります。

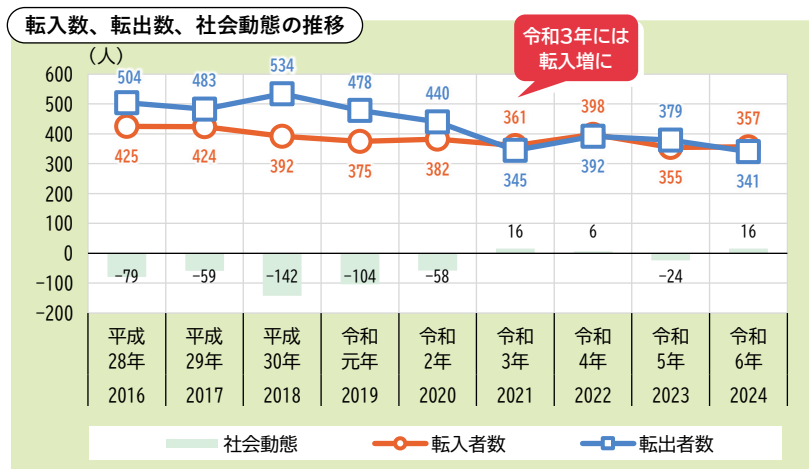


資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態、世帯数(総務省)
注)各年12月31日現在データ

(5) 転入数、転出数、社会動態

直近では転入数と転出数は均衡

・平成28年以降、転出者が転入者を上回る傾向にありましたが、徐々に両者の差は縮まり、令和3年には転入増になっています。

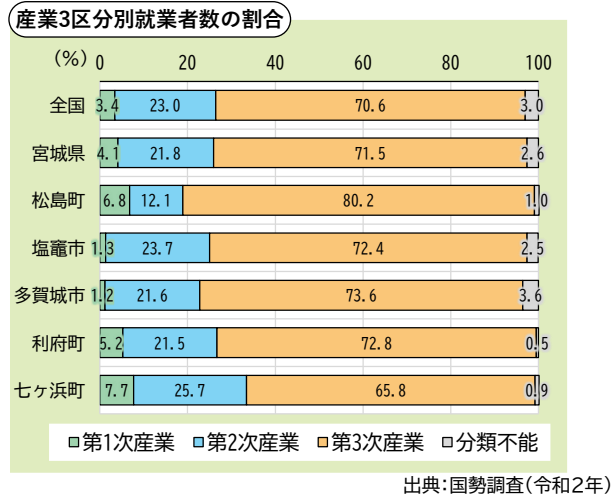
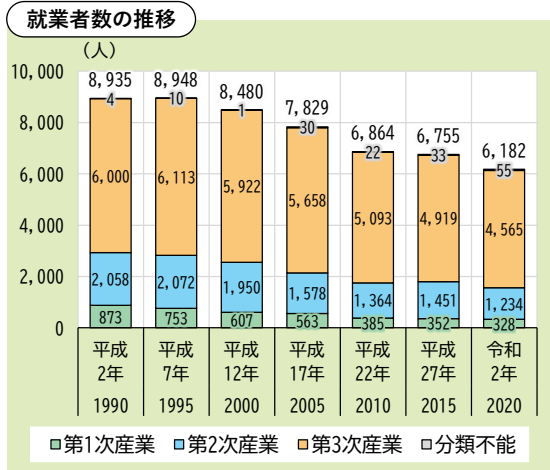


資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態、世帯数(総務省)
注)各年12月31日現在データ

(6) 就業者数

就業者数は減少傾向に

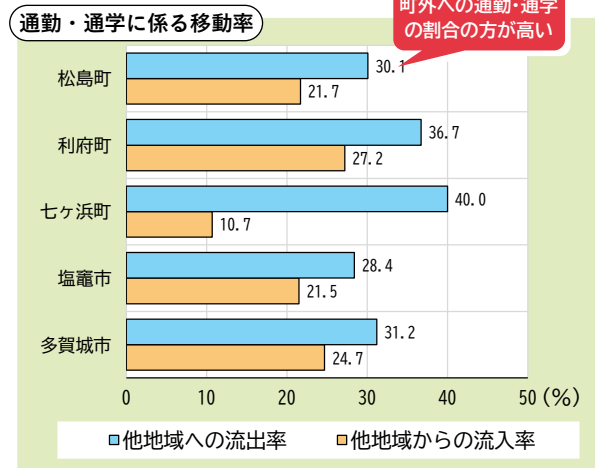
- ・就業者数は減少傾向にあり、令和2年には約6,200人と、平成2年（30年前）の約7割となっており、特に第1次産業では約4割となっています。
- ・産業3区分別就業者数の割合は、第1次産業が6.8%、第3次産業が80.2%と、近隣の自治体に比べて割合が高くなっている一方、第2次産業は12.1%と約半分となっています。



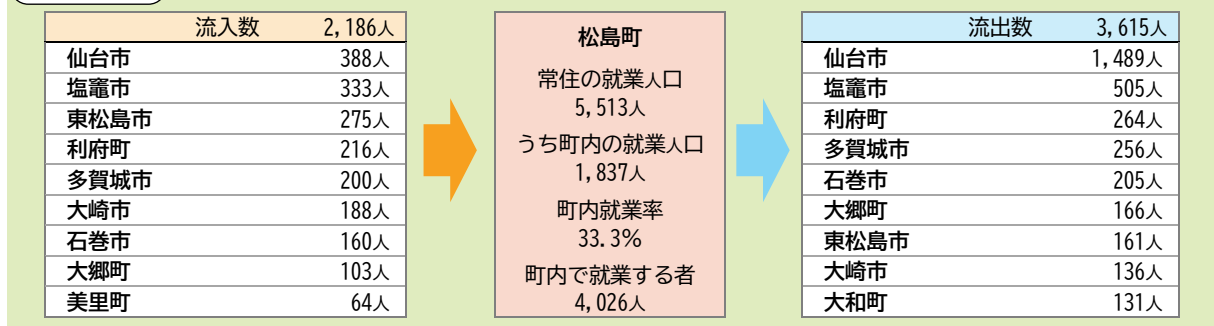
(7) 地域間の移動

町外へ通勤・通学している割合が高い

- ・通勤・通学に係る移動の状況は、松島町では他地域への流出が他地域からの流入よりも多く、町外に通勤・通学している割合が高くなっています。また、仙台市のベッドタウンにも位置付けられることから、近隣自治体と同等の数値となっています。
- ・町外に在住し町内で働く就業者は、仙台市、塩竈市が多くなっています。また、町外で働く町民の就業地は、仙台市が最も多く、次いで塩竈市、利府町となっています。



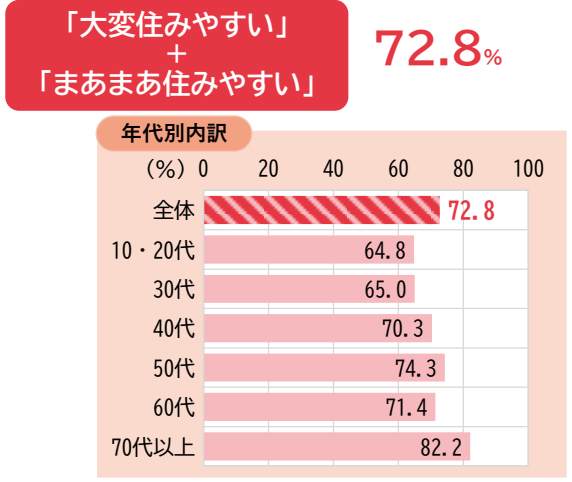
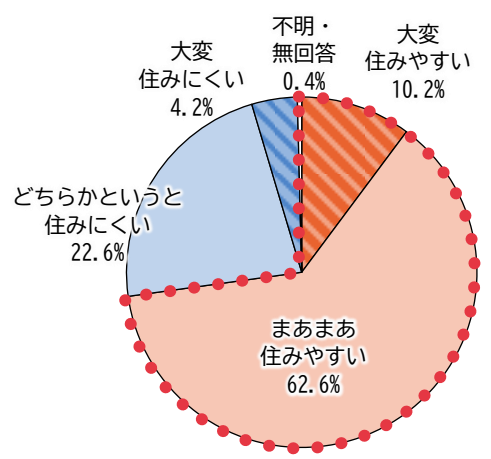
就業者の状況



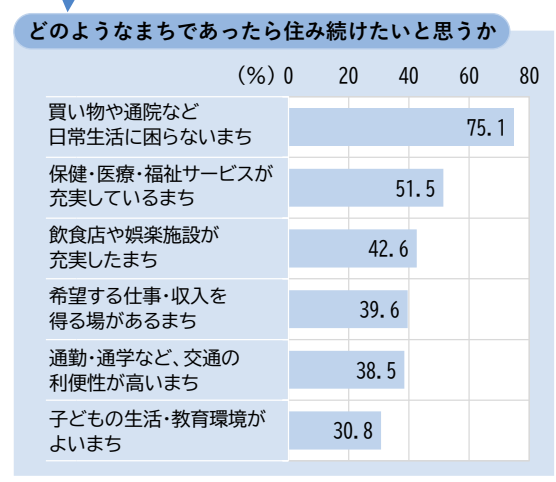
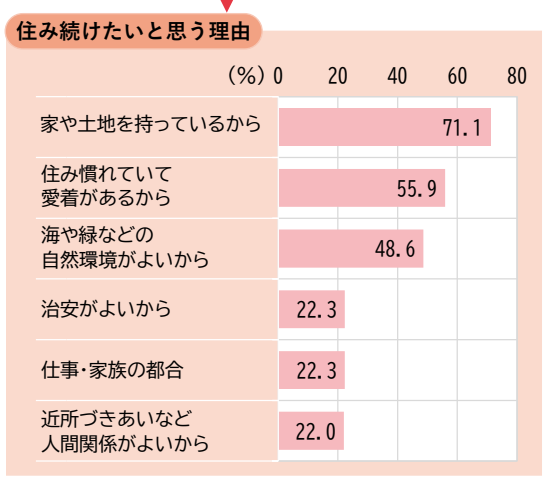
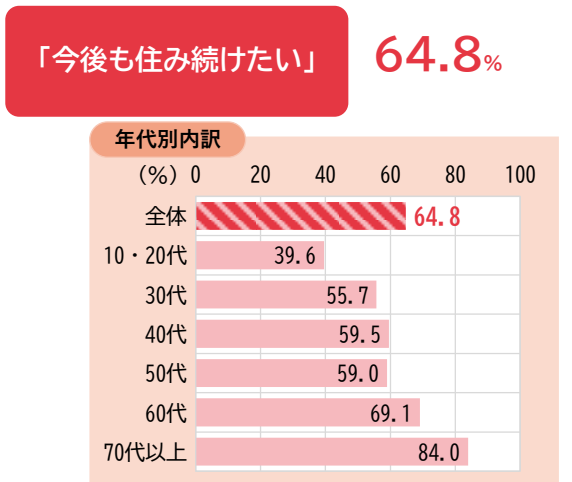
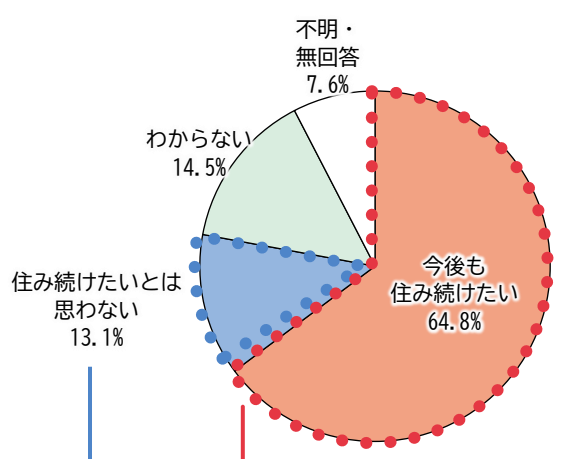
4 町民の思い・ニーズ

本計画の策定にあたり、町民の意識を把握するため町民アンケートを実施しました。18歳以上の町民4,500人を対象に、令和6年11月～12月に実施したところ、1,287人の回答を得られました。

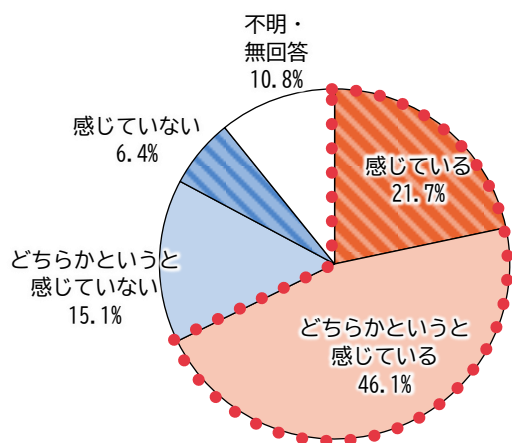
(1) 松島町の住みやすさ



(2) 今後の居住意向



(3) 松島町へ愛着や誇りを感じるか

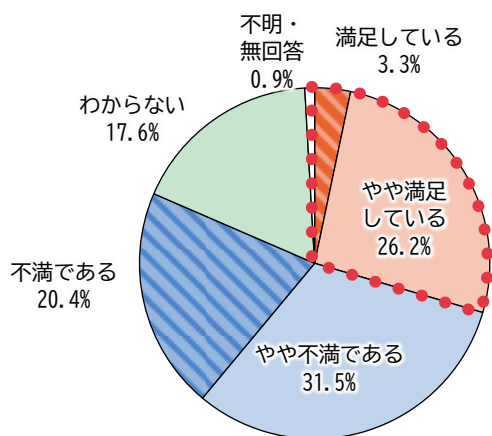


「感じている」
+
「どちらかというと感じている」 **67.8%**

年代別内訳

(%)	0	20	40	60	80
全体					67.8
10・20代				67.0	
30代				67.6	
40代				68.0	
50代				67.7	
60代				72.9	
70代以上				69.0	

(4) 松島町のまちづくりに満足しているか

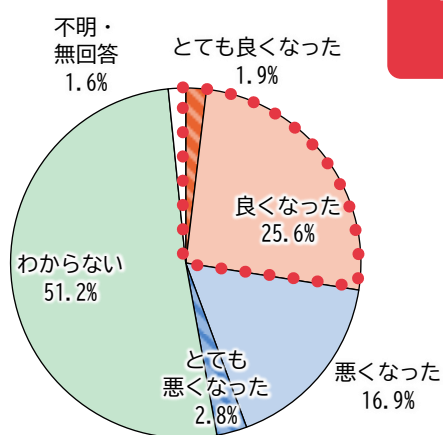


「満足している」
+
「やや満足している」 **29.5%**

年代別内訳

(%)	0	10	20	30	40
全体					29.5
10・20代				36.3	
30代				35.1	
40代				27.5	
50代				25.3	
60代				27.9	
70代以上				28.7	

(5) この10年間で、松島町は良くなったと思うか

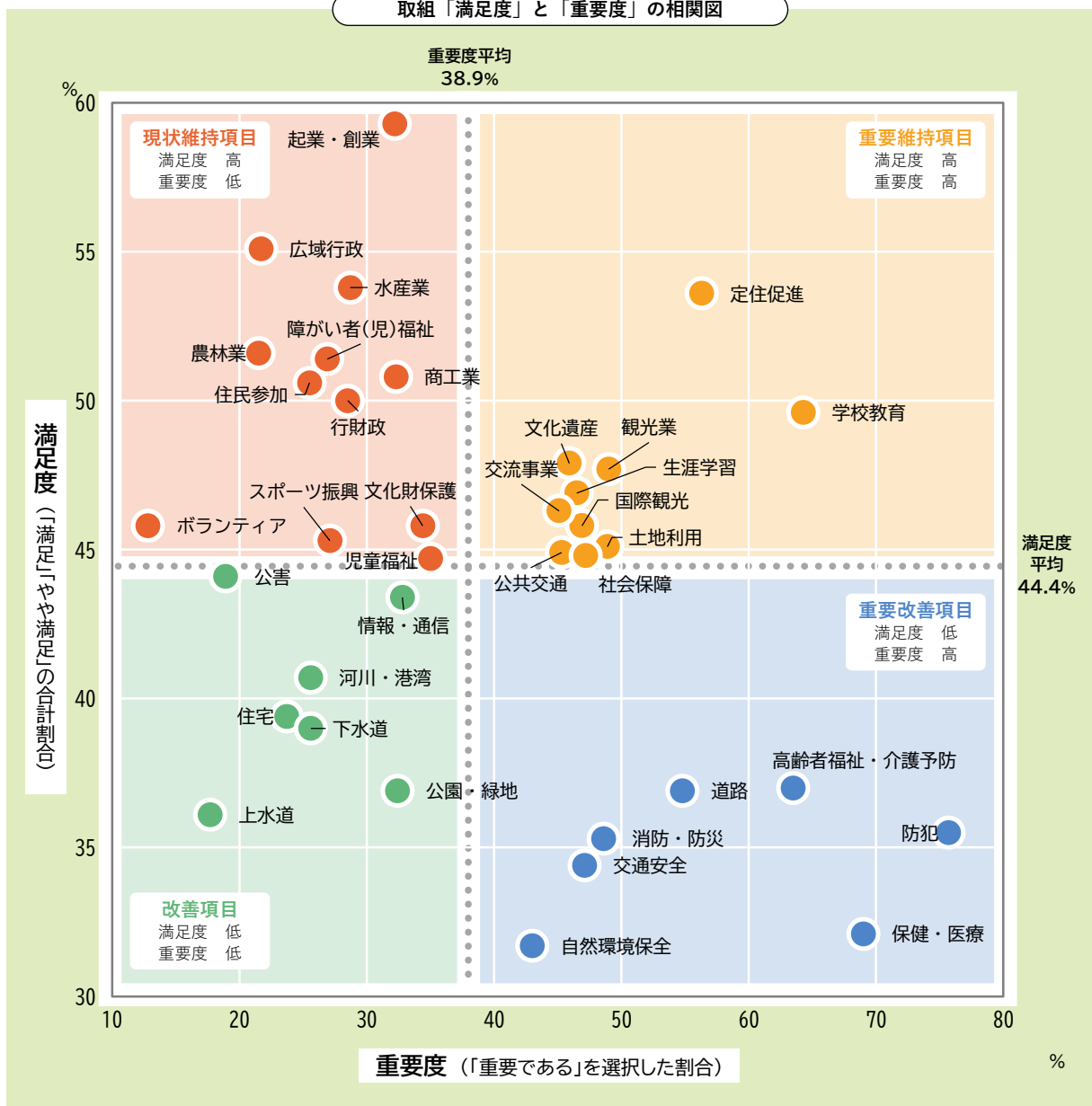


「とても良くなった」
+
「良くなった」 **27.5%**

年代別内訳

(%)	0	10	20	30	40
全体					27.5
10・20代				30.8	
30代				27.6	
40代				22.2	
50代				28.1	
60代				26.8	
70代以上				26.9	

(6) 各取組満足度と重要度



第3章

現状・課題の整理

1

松島町全体 にかかる課題

人口減少への対応

生涯にわたる暮らしやすさ

産業の活性化

若い世代の転入促進・転出抑制

- 松島町では人口減少及び少子化の問題が深刻となっており、令和22年には10,000人を下回ることと推測されています。人口減少による地域コミュニティ機能の低下等、将来の生活に対する不安感が広がっており、町民が将来にわたって安心して暮らせる人口減少社会に的確に対応したまちづくりに取り組む必要があります。
- アンケート結果からは、町民の約7割が「松島町は住みやすい」と回答している一方で、「住みにくい」と回答した割合が約3割となっています。また、「今後も住み続けたい」と回答した割合は全体で6割台である一方で、若い世代では6割未満と低くなっています。特に「快適な住環境」を望む意見が多くなっています。
- こうした意向を反映するまちづくりが20～40代の転出抑制と転入増加という成果をもたらし、ひいては、人口の減少スピードを緩やかにすることに繋がります。
- また、まちづくりを進めていくにあたって、町外からみた松島町は「日本三景・松島」として、松島海岸地域が強くイメージされることから、松島町全域の魅力を向上・発信していくことが重要となっています。
- 次の10年間では、若い世代の活力を活かし、生涯にわたって暮らしやすいまちの新しい姿を構築しなければなりません。そのためには「このまちに住んで良かった」と思えるような、新しい時代の暮らしやすさの土台づくりを強力に進める必要があります。

2 都市基盤分野 にかかる課題

安全で快適なインフラの整備

渋滞の解消

空き家への対応

転入促進

利用しやすい公園づくり

景観に配慮した住宅整備・新たな土地利用

課 題

- 町民は「住環境の快適性」を重視している傾向があり、特に慢性的な渋滞解消や公共交通の充実を求める声が多くなっています。
- また、インフラの整備については、歩行者の安全性の確保や大雨等の際の浸水防止、快適な上下水道の利用が求められています。
- 転入者が一定数いる一方で、少子高齢化を伴う人口減少による空き家の増加が懸念されています。特に松島の景観を保護しながら、住宅整備を進めていくことが求められています。さらに、利用しやすい公園づくり等、子育て世代のニーズへの対応が求められています。
- 松島イノベーションヒルズ*の整備等、新たな土地利用も見込まれており、産業振興と連動した人口政策が求められています。

これからの10年間に向けた方向性

- 少子高齢化に対応しながら、町民が安全に快適に暮らせる住環境の向上に取り組むとともに、新たな土地利用やニーズに対応した転入促進を進めていきます。

* 松島イノベーションヒルズとは、初原地区に整備中の工業団地のことを指します。松島町には、これまで大規模な工業団地がありませんでしたが、新たな産業拠点が誕生することで、さらなる地域経済の活性化が期待できます。

3 環境保全 / 安全・安心分野 にかかると課題

松島町の豊かな自然環境の保護

道路環境の改善や交通安全の向上

地域と協力した防犯・防災活動

多様化する自然災害の発生を視野に入れた防災体制

課 題

- 昨今の社会情勢の変化等を受け、町民の防犯や消防及び防災意識がより一層高くなっています。
- 環境保全については、松島町の豊かな森林や海岸の環境に愛着を持っている町民が多く、今後もこれらの自然環境を維持していくことが重視されています。
- 安全対策については、若い世代を中心に道路環境の改善や交通安全の向上を求める声が多くなっています。また、地域の防犯活動にあたって、人材の不足や固定化が懸念されており、裾野を広げた人材の確保や他事業と連動した活動展開が求められています。
- 防災については、東日本大震災以降、防災に対する意識が高まってきている一方で、人口減少や地域コミュニティの希薄化により、地域の防災力の低下が懸念されています。そのほか、大雨等の災害時の住宅、道路、河川の安全の確保を求める声が多くなっています。

これからの10年間にに向けた方向性

- 松島町の豊かな自然環境を保護しながら、地球環境に優しいまちづくりを進めます。
- 地球温暖化防止は世界共通の喫緊課題という認識に立ち、世界の一員としてエネルギー分野へのデジタル技術の活用や民間活力の導入等を進め、温室効果ガス"ゼロ"の脱炭素社会*を目指します。
- 交通事故と犯罪のない安全な地域づくりを目指して、防犯カメラの設置や防犯協会や警察署と連携した防犯意識の醸成に取り組み、地域コミュニティの結束力を高めながら、地域防犯力の向上に努めます。
- 従来の想定を越え多様化する自然災害の発生を視野に入れた防災体制を構築し、町民の命と安全・安心な暮らしを守るまちづくりを進めます。また、町民一人ひとりの防災意識の向上に取り組みながら、行政、自主防災組織、消防団及び地域住民が力を合わせて災害に強い地域づくりを進めます。

4 保健・医療・福祉分野にかかると課題

必要な医療サービスを受けることができる環境づくり

若い世代の結婚、出産、子育ての希望が叶えられる環境づくり

それぞれの地域に合わせた新しい支え合いのあり方の構築

課題

- 保健・医療については、アンケートでは、医療や高齢者福祉に関する重要度が高く、特に病院等の医療環境の充実を望む声が多くなっています。
- 年少人口の減少が続いており、少子化対策が松島町の持続的な発展にとって重要課題となっています。また、子育て支援については、共働き世帯が増加する中、安心して子どもを預けられる保育環境や松島町の自然を活かした子育てしやすい環境が求められています。
- 高齢者福祉については、高齢化が進行する中で、予防の段階から健康づくりに取り組むほか、活躍の場や生きがいの場をつくることによって健やかな心身を維持しながら生活することが重要です。
- 地域の担い手の高齢化・減少による地域活力の低下が懸念されるほか、高齢者単独世帯や高齢者夫婦のみの世帯の増加等、地域を構成する町民やその家族形態が多様化しています。誰もが地域で健康で安心して生活できるよう、それぞれの地域に合わせた新しい支え合いのあり方を検討する必要があります。

これからの10年間に向けた方向性

- 住み慣れた地域で、適切な時に必要な医療サービスを受けることができるような環境づくりを進めます。
- 子育て世代の定着に向け、若い世代の結婚、出産、子育ての希望が叶えられる環境づくりを進めます。
- 地域のつながりを軸に、互いに支え合い、助け合える地域づくりを継続的に進めながら、一人ひとりの健康寿命を延ばし、住み慣れたまちでいつまでも元気に暮らすことができるよう、医療と地域福祉の充実を図ります。

5 教育分野にかか る課題

児童・生徒の希望に応じた登下校手段の充実

郷土教育の充実

誰もが生涯学習・スポーツ活動に取り組むことができるような環境づくり

文化財の効果的な発信

新しい地域コミュニティのあり方に合わせた地域の伝統文化の継承

課 題

- 学校教育については、アンケートの重要度が高くなっています。また、小学校の再編が検討される中で、登下校の交通手段や安全の確保を求める声が多く、児童・生徒の希望に応じた登下校手段の充実が求められています。
- 中長期的な人口の確保に向けては、郷土教育が重要であるという意見も多くなっています。松島町の豊かな自然環境や文化財等を活用しながら松島町への愛着や誇りを高めていくことが重要です。
- 生涯学習及びスポーツ振興については、町民が活動しやすい環境づくりが求められています。特に、一部の施設が更新の時期を迎えていることから、引き続き適切に維持・運用していくことが必要です。また、各活動については、参加者の減少や固定化により、活動が縮小されていくことが懸念されており、情報発信をはじめとした活動の支援の充実が求められます。
- 文化財の保護については、県と連携しながら文化財の保護・活用を進めている一方で、松島の多様な文化財について、すべてを十分に公表・発信できていないことが懸念されています。また、地域の伝統文化についても、地域コミュニティの縮小や後継者の減少等が懸念されています。

これからの10年間に向けた方向性

- 子どもたちが高校生までの成長過程において、大きな夢と希望を持ち、それを叶える力を育むことができるよう、地域で活躍する多くの人々との世代を超えた交流と学びを展開し、未来の松島を支え、地域づくりの主角として活躍できる人づくりを進めます。
- ハード・ソフトの両面から生涯学習・スポーツ活動を支援し、誰もが活動に取り組むことができるような環境づくりを進めます。
- 活用を工夫しながら、文化財の効果的な発信を行い、町民の郷土愛の醸成や観光振興につなげていきます。また、地域の伝統文化についても、新しい地域コミュニティのあり方に合わせた存続、展開を検討します。

6 観光・産業分野 にかかると課題

観光渋滞の解消

松島町の資源の再認識、整理

新たな魅力の創出、情報発信の充実

滞在時間の延長、消費金額の向上

農林水産業の後継者確保

他業種が連携した販路拡大

食料品や日用品の購入の場の充実

町内の資源を活用した起業・創業しやすい環境づくり

松島イノベーションヒルズ*の整備を見据えた新たな雇用の創出

課題

- 観光については、日本三景・松島を中心に多くの観光客が訪れている状況ですが、それに伴う慢性的な渋滞等が問題視されており、パークアンドライド*方式の採用や公共交通機関の充実等を踏まえた対策が求められています。また、観光客の滞在時間が短く、将来的には観光地として淘汰されてしまうことが懸念されています。さらに、観光客が松島地域に集中している傾向があり、町内の魅力を更に発信していく必要があります。
- 農林水産業については、従事者の減少や後継者不足がみられており、多様な機会を活用して、人材を確保していくことが重要です。また、産業の活性化に向けては、松島町の豊富な農産物、海産物の知名度向上を図り、販路拡大に努めることが必要となっています。
- 商工業については、特に食料品や日用品の買い物の場が少なく、利便性の向上を求める声が多くなっています。
- 起業・創業支援・雇用促進については、仙台市のベッドタウンの要素が強い松島町では、就労、雇用の場を求めて町外へ流出していくことがみられ、若者が働きたいと思える就労の場をつくる必要があります。また、起業・創業支援については、町内に空き家・空き店舗が多くみられることから、それらの効果的な活用を求める声があがっています。

これからの10年間に向けた方向性

- 観光渋滞の解消等に取り組みながら、日本三景松島周辺施設、各飲食施設、宿泊施設、物品購入施設が連携しながら、松島町の資源を再認識、整理し、新たな魅力の創出、情報発信の充実により、観光客の誘客を図るとともに、滞在時間の延長、消費金額の向上を目指します。
- 今後は、地域産業の継続、発展を図るため、後継者の育成、担い手への確保、持続可能な経営体制の構築、他業種が連携した販路拡大に取り組みます。
- 企業等と連携しながら、食料品や日用品の買い物の選択肢を増やせるよう、誘致に取り組みます。
- 町内の資源を活用しながら、松島町で起業・創業しやすい環境づくりを進めます。そのほか、今後、松島イノベーションヒルズ*の整備にあたって、企業誘致を進め、新たな雇用を生み出します。

7 行政経営分野 にかかると課題

空き家の実態把握や空き家バンク、情報発信の充実

住宅政策や産業政策と連携した定住促進

町民、行政、民間等が連携したまちづくり活動

まちの情報や魅力の発信、町民が活動しやすい環境の充実

効率的な行政組織や体制の整備

地域の実情やニーズを踏まえたサービス提供

デジタル技術を活用した町民サービスの提供

課題

- 定住促進については、直近では転入増になっている一方で、若い世代の進学・就職等を機とした流出がみられています。また、町内では空き家の増加がみられており、空き家の実態把握や空き家バンクの充実、情報発信の充実が求められます。
- 住民参加については、アンケートではまちづくりへの関心の高まりや町民協働の高まりが伺えます。一方で、人口減少や地域コミュニティの希薄化による住民活動の縮小等が懸念されています。
- 行財政の運営や広域行政については、特に財政の面で、少子高齢化に伴う労働人口の減少、地域経済の縮小に伴う税収の減少等が懸念されています。
- 松島町は、地域によって人口構成や生活機能に差がみられています。町民が安心して生活し続けていくためには、各地域で生活機能を充実させていくことが求められています。

これからの10年間に向けた方向性

- 住宅政策や産業政策と連携しながら、住居や仕事に関する一人ひとりのニーズにきめ細かく対応するため、情報提供と支援を行うサポート体制を強化していきます。
- 町民、行政、民間等が連携しながらまちづくりに取り組んでいきます。また、まちの情報や魅力の発信、町民が活動しやすい環境を充実させ、町内外で松島町のまちづくりに関わる人を広げていきます。
- 効率的な行政組織や体制の整備、地域の実情やニーズを踏まえたサービスの迅速かつ的確な提供等、社会環境の変化に対応した適切な行政経営を進めます。また、周辺自治体との広域連携を積極的に進め、社会潮流に柔軟に対応できる行政運営、財政の健全化・安定化に取り組めます。
- デジタル技術を活用したスマート自治体（自治体行政のデジタル化）の推進に取り組むながら業務の効率化を推進し、よりきめ細かくで利便性に優れた町民サービスを提供していきます。

第2部

基本構想



第1章

まちづくりの基本的な考え方

1 基本理念

歴史・文化の継承と創造

松島町の豊かな自然・景勝や歴史的建造物、伝統的な文化等、松島ならではの「歴史・文化」を次世代に継承していくとともに、産業や地域づくりの一翼を担う人材の育成に努め、松島らしい新たな「歴史・文化」を創造していく必要があります。こうした取組は10年間の計画期間のみならず、長期的な視野のもとで継続的に実施していく必要があることから、「歴史・文化の継承と創造」を引き続き基本理念として設定します。

2 町民の想い

まちの将来像や基本目標に町民の想いを反映させるため、町民アンケートやまちづくり検討委員会でワークショップを行い、たくさんの提案や意見をいただきました。

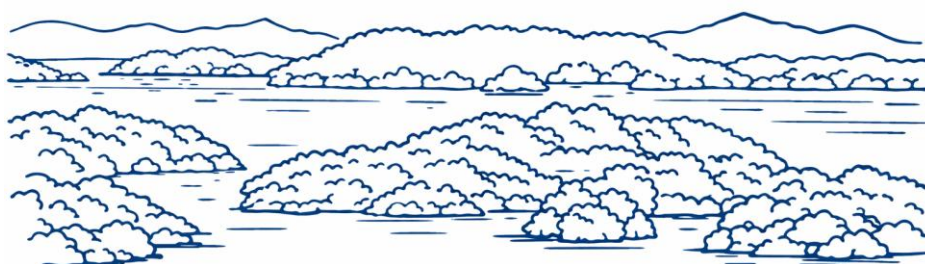


第2章

将来像

将来像

誰にでもやさしく、活力あふれる “ほっと”松島



松島町は、子どもから高齢者まで、誰もが地域の一員として大切にされ、安心して暮らせる「やさしさ“ほっと”」と、地域全体が未来に向けて力強く歩み続ける「活力“HOT”」をあわせ持つまちを目指します。

豊かな自然と歴史・文化、多くの人々に支えられてきた松島の魅力を未来につなぐためには、行政だけではなく、町民一人ひとりや地域の事業者、団体が主体的に関わり、協働の力で新たな価値を生み出すことが不可欠です。また、人口減少や少子高齢化、災害リスク、価値観の多様化等、松島町を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした課題に向き合うために、地域の知恵や経験を分かち合いながら、支え合いや助け合いの仕組みを育て、誰もが自分らしい暮らしと生きがいを実感できる社会を実現します。

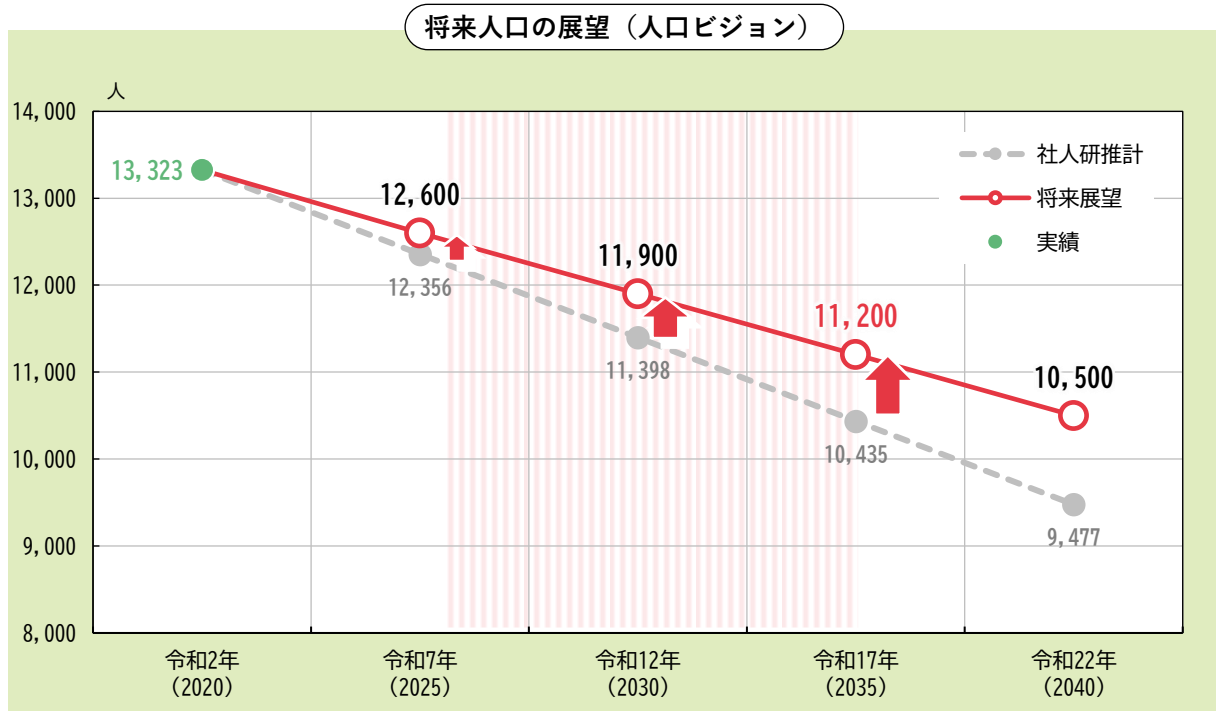
交流人口・関係人口の拡大や観光振興、地域資源を活かした産業づくり、新しい働き方への対応等、未来に向けた活力を創出し、住み続けたい、訪れたいと思われる魅力ある地域づくりを進めます。

さらに、町民協働によって「ともに考え、ともに行動し、ともに創る」まちづくりを推進し、『誰にでもやさしく、活力あふれる“ほっと”松島』を実現していきます。

第3章

将来人口の展望

人口減少社会の中にあっても、活力のある持続可能なまちを目指し、各種産業の振興や更なる移住・定住の推進や子育て環境の充実を進めることで、転出抑制と転入促進を図り、令和17（2035）年の目標人口を11,200人と設定します。



人口展望の達成に向けて

1. 生産年齢人口の減少が人口減少と少子化に影響することを踏まえ、松島イノベーションヒルズ*の開発や町内産業の活性化を図ります。
2. 10～20代が進学や就職により町外に転出していることを踏まえ、町内や近隣で働きながらも町内で暮らす定住環境を形成し、生産年齢人口の転出抑制とUIターン*による転入増加につなげます。
3. 様々な機会を通じて町外との関係人口を増やし、移住促進（転入増加）につなげます。
4. 晩婚化と合計特殊出生率の伸び悩みによる少子化が進んでいることを踏まえ、出会いや結婚、希望に応じた出産と子育ての支援に一層取り組み、出生数増加につなげます。
5. 高齢社会を迎えていること、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加することを踏まえ、心身の健康づくり、介護予防、高齢者の暮らしの支援に一層取り組み、健康寿命の延伸につなげます。

第4章

重点戦略

町の将来像を実現するためには、人口減少・少子高齢化の同時進行に対応した分野横断的な取組が求められています。

前計画では、「若者の定住の促進」、「地域の実情に応じた子育て支援」、「観光客と町民等の交流の促進」を重要課題として設定し、「定住」、「子育て」、「交流」を重点戦略と定め、「重点プロジェクト」に掲げた施策を展開してきました。

本計画では、前計画の視点を引き継ぎながら、新たに産業振興の視点を加えて、重点戦略を設定します。

重点戦略① 定住

松島を訪れた方に「いつかは住んでみたい」と感じてもらえ、また、町民が安心して「いつまでも住み続けたい」と思えるまちの形成を目指し、住環境の充実、防災体制の強化、高齢者福祉・介護予防の充実を推進する。

重点戦略② 子育て

松島で暮らす町民が安心して子どもを産み育てられ、ふるさとに誇りを持ち地域づくりの一翼を担う人材を育むことができるまちの形成を目指し、子育て支援の充実、教育環境の向上を推進する。

重点戦略③ 交流

観光が盛んな海岸地域だけでなく、町全体での協働により「おもてなしの心」を育み、松島を訪れた方が「何度も訪れたい」と感じてもらえるまちの形成を目指し、文化財の活用及び魅力の発信、観光交流の推進、産業間の連携強化、地域コミュニティの強化を推進する。

重点戦略④ 産業

急激に進むデジタル化や脱炭素化等、社会潮流の変化を的確に捉えながら、新たな産業の育成や企業誘致を進め、地域の活力を高める。あわせて、松島町の基幹産業である農林水産業や観光業の価値向上に取り組み、地域資源を活かした商品開発や魅力発信、体験型観光の充実等を通じて、町内外のつながりを広げ、交流人口・関係人口の拡大を図る。

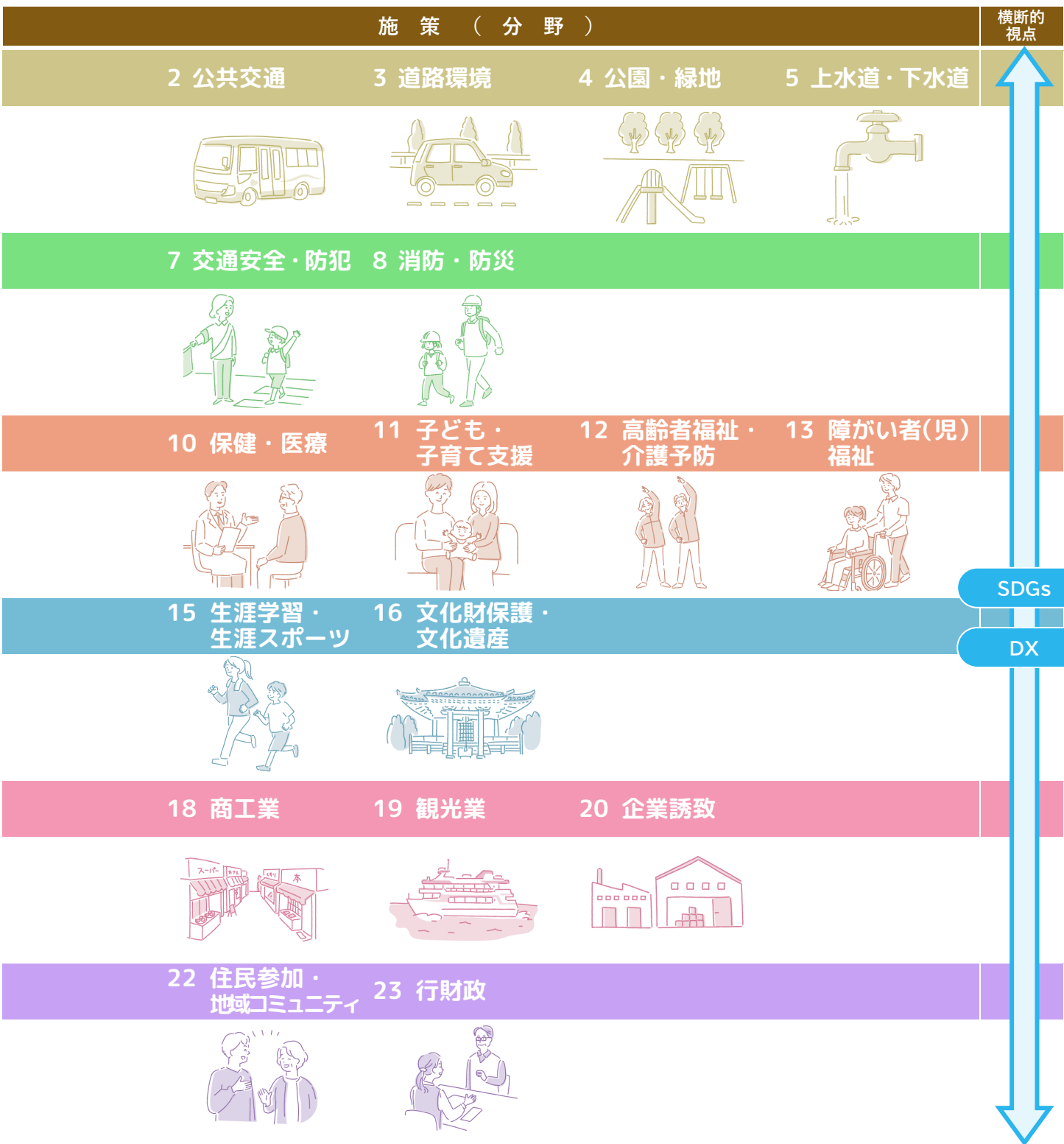
第5章

まちづくりの方向性

① 基本計画の体系

松島町の将来像を実現するための6つの基本目標を定め、これまでの取組を最大限に活かすまちづくりを町民と協働で進めます。

将来像	重点戦略	基本目標	
誰にでもやさしく、 活力あふれる “ほっと” 松島	定住	1 松島の基盤をつくる	1 居住環境 
		2 松島の人と自然を守る	6 自然環境保全 
	子育て	3 松島の人々を支える	9 地域福祉・ 社会保障 
		4 松島人を育む	14 学校教育 
	産業	5 松島の活力を生み出す	17 農林水産業 
		6 松島のまちづくりの 仕組みをつくる	21 定住促進 



基本目標 1

良好な
アクセス性



インフラの
充実



豊かな
自然・文化

松島の基盤をつくる（インフラ）

快適で安全・安心な生活環境は、私たちの暮らしにとって欠かせない基盤です。これからのまちづくりにおいては、町民はもとより、町外からも「松島町で暮らしたい」と思われる魅力ある住環境を整え、定住促進につなげていくことが重要となります。

そのため、道路交通網や公共交通体系、上下水道、住環境の整備等、誰もが快適に暮らせるまちづくりに取り組み、「松島の生活」の基盤をつくります。

施策
(分野)

1 居住環境
4 公園・緑地

2 公共交通
5 上水道・下水道

3 道路環境

基本目標 2

豊かな自然を
後世に



安全・安心



ハードも
ソフトも

松島の人と自然を守る（環境、安全）

松島町の美しい景観と豊かな自然環境は、訪れる人や町民にやすらぎをもたらすだけでなく、将来へ引き継ぐべき貴重な財産であり、今後も町内の多様な資源や豊かな自然の恩恵を維持し、次の時代へ継承していくことが必要です。

一方で、地震や大規模災害等の自然災害への備えに加え、犯罪や消費者被害、交通事故への対応等、安全・安心を取り巻く課題は多様化しています。また、持続可能な社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの活用等、環境負荷の低減も重要となっています。

そのため、自然を守り、活かすまちづくりや、誰もが安全に暮らすまちづくりに取り組み、自助・共助・公助の意識を高めながら、松島の人と自然を守ります。

施策
(分野)

6 自然環境保全

7 交通安全・防犯

8 消防・防災

基本目標 3

子どもから
高齢者まで地域の
つながり必要な支援・
サービス

松島の人々を支える（保健・医療・福祉）

平均寿命の伸びや出生率の低下による少子高齢化の進行、核家族化等の家族構成の変化、さらには町民ニーズの多様化により、保健・医療・福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。

松島町でも、少子高齢化や核家族化の進展に伴い、高齢者や障がい者をはじめ、多様な福祉サービスを必要とする町民が増加しています。

そのため、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、一人ひとりのニーズにきめ細かく対応するとともに、家族や地域の人々と支え合いながら、生きがいを持って暮らせる保健・医療・福祉体制をつくり、松島の人々を支えます。

施策 (分野)	9 地域福祉・社会保障	10 保健・医療	11 子ども・子育て支援
	12 高齢者福祉・介護予防	13 障がい者（児）福祉	

基本目標 4

地域資源を
活かした教育生涯を
通じた学び歴史・文化の
継承

松島人を育む（教育、文化）

教育・文化に関わる活動は、町民の豊かな心と健やかな体を育み、人生を豊かにする生きがいや教養をもたらし、人同士のつながりや継続的な発展につながる大きな活力となります。今後は郷土愛の醸成に向けて松島の資源を活かした教育の充実や、町内施設の適切な維持・管理、裾野を広げた活動の展開が求められます。

また、長い歴史の中で発展してきた松島町には、独自の文化や気質が息づいており、それらは、人々のふるさとへの深い思いと誇りを育んできました。

こうした松島の特性や魅力を次世代へつなぐため、豊かな心と体を育む生涯学習に取り組みながら、文化財や地域資源を引き継ぎ、効果的に活用することで、郷土を大切に「松島人」を育みます。

施策 (分野)	14 学校教育	15 生涯学習・生涯スポーツ
	16 文化財保護・文化遺産	

基本目標 5

やりがいのある
農林水産業



魅力あふれる
観光



チャレンジ
できる環境

松島の活力を生み出す（産業）

産業振興は、地域経済活動を通じてまちの活力や多様な雇用創出を生み出すなど、町民の豊かな暮らしを支える重要な役割を担っています。

一方で、町内の従業者数は減少傾向にあり、特に農林水産業においては担い手不足が大きな課題となっています。

そのため、地域経済の持続的な発展に向けて既存産業の振興と担い手の確保・育成を図るとともに、松島町の魅力を観光資源として積極的に活用し、交流と賑わいを創出することで、地域の活性化につなげ、松島の活力の創出を目指します。

施策
(分野)

17 農林水産業
20 企業誘致

18 商工業

19 観光業

基本目標 6

魅力を発信



誰もが活躍



満足度 UP

松島のまちづくりの仕組みをつくる（協働・行財政）

町民の価値観や生活様式の多様化により、地域社会における連帯意識や自治活動への参加意識の希薄化が指摘されています。このような状況の中で、地域コミュニティの意識を高めるとともに、幅広い世代が主体的に参加できる仕組みづくりが求められています。

また、松島町を取り巻く社会経済環境が変化する中、将来にわたり持続的な発展を遂げるためには、長期的な視点に立った計画的な行財政運営が不可欠です。生活圏の拡大や地域課題の複雑化・多様化に対応するため、デジタル技術の活用や近隣自治体との連携強化も重要となっています。

そのため、町民同士が手をつなぎ、誰もが活躍できるまちづくりを推進するとともに、効率的で持続可能な行財政運営のもと、次世代へつなぐ自立したまちづくりを進めていきます。

施策
(分野)

21 定住促進
23 行財政

22 住民参加・地域コミュニティ

2 横断的な視点

SDGs

SDGs（持続可能な開発目標）とは、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された令和12（2030）年までに達成すべき国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念に17のゴール（目標）で構成されており、世界の国々で取組が進められています。

我が国は平成28（2016）年12月に「SDGs実施指針」を策定し、国、地方自治体、企業、市民による幅広い連携とともに、地方自治体の各種計画への最大限の反映を奨励しています。

SDGs（持続可能な開発目標）17のゴール



1. 貧困をなくそう
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。



2. 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。



3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



4. 質の高い教育をみんなに
すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。



5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。



6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



8. 働きがいも経済成長も
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靭なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。



10. 人や国の不平等をなくそう
各国内及び各国間の不平等を是正する。



11. 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靭で持続可能な人間居住を実現する。



12. つくる責任つかう責任
持続可能な生産消費形態を確保する。



13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。



14. 海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。



15. 陸の豊かさを守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。



16. 平和と公正をすべての人に
平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。



17. パートナリシップで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。



カラーホイール
17のゴールそれぞれのカラーを一つの輪として表現した、SDGsを象徴するアイコン

出典：外務省

DX

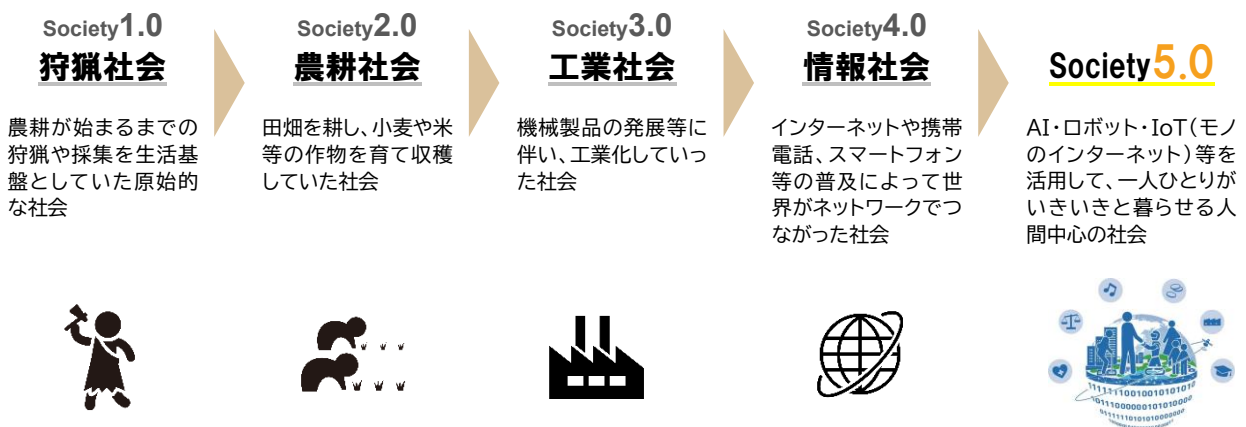
DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、AIやIoT*、ビッグデータ等のデジタル技術を活用し、業務の効率化にとどまらず、社会や組織の仕組みそのものを変革していく取組です。近年、人口減少や高齢化、人手不足等の社会課題が顕在化する中、国はデジタルの力によって課題解決と成長を両立させる社会像として「Society5.0*」を掲げています。DXは、このSociety5.0*を実現するための実践的なアプローチであり、行政や企業、地域がデータを連携・活用することで、住民一人ひとりに寄り添ったサービスの提供や、持続可能な社会の構築につなげていくものです。

Society5.0*の変遷

Society5.0*以前の人間社会の進化は、4段階に分けることができます。

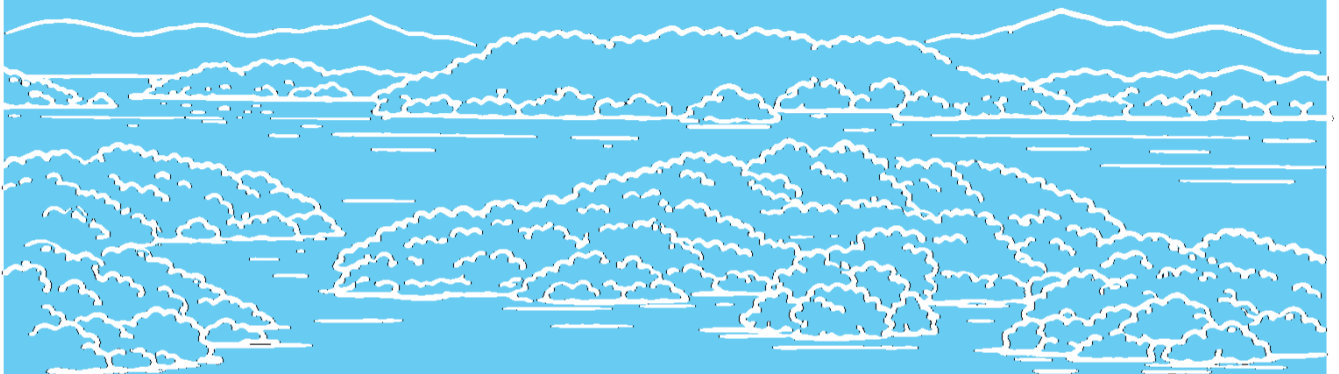
動物を狩っていた「狩猟社会」が「1.0」、田畑を耕すことで安定した食料の確保を実現した「農耕社会」が「2.0」、産業革命により工業が発展した「工業社会」が「3.0」、コンピューターやインターネットが普及した「情報社会」の現代は「4.0」にあたります。

それらがさらに進化した新しい社会が「Society5.0*」です。つまり、情報社会から一歩進んだITがもっと生活に溶け込んだ便利な社会と捉えることができます。



第3部

基本計画





分野 1 居住環境

10年後の松島町は…

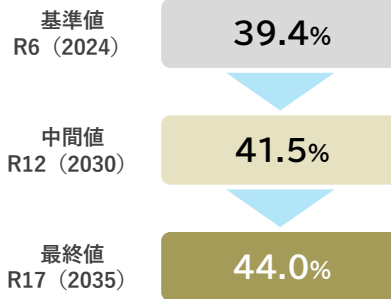
多様な住宅・宅地が確保・供給され、
ライフスタイル等に応じて選択できています。

実現度を測る指標

該当する SDGs



町民満足度
(住宅)



町民から見る今の松島町

住みよい松島町になれば、
もっと人が増える！

まちに空き家が増えていて心配…
色々な人が活用できるといいな

新しく人が入ってくるためには、
魅力的な住宅が必要

みんなで取り組もう！

耐震化等、安心して住める
家づくりに努めよう！

地域ぐるみで住環境の
向上に取り組もう！

景観条例に基づき、良好な景
観の保全・形成に努めよう！



主な施策と数値目標

1 持続可能な土地利用の推進

- 建築に対する必要な指導・助言を行うとともに、適時適切に都市計画を見直します。また、地形図や都市計画図を更新します。
- 松島イノベーションヒルズ*等の企業誘致に向け、市街化調整区域における地区計画の活用等により計画的な土地利用を促進します。



2 空き家の活用

- 空き家バンク、定住促進事業補助金制度等を活用し、利活用の促進と特定空き家等として指定される空き家の発生を予防します。
- 空き家のデータベース化を進め、所有者等への適時適切な指導と町民への積極的な情報提供により、空き家等が適正に管理されるよう取り組みます。



3 安定的な町営住宅の供給

- 町営住宅のストックと長寿命化を図るため、建物の定期調査により劣化状況を踏まえた安全を確認後、各種設備補修を実施し、居住性の維持管理に取り組みます。



関連計画

国土利用計画、都市計画マスタープラン、景観計画、
バリアフリー基本構想、町営住宅長寿命化計画、国土強靱化地域計画



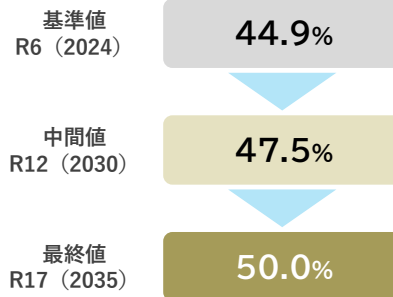
分野 2 公共交通

10年後の松島町は…

町民や来訪者が公共交通を快適に利用しているとともに、町内の渋滞が緩和されています。

実現度を測る指標

該当する SDGs



町民から見る今の松島町

複数の鉄道路線が通り、駅が町内に多いのが松島町の強み！

町内の公共交通での移動がもっと快適になるといいな

小中学生が安全に登下校できるといいな

みんなで取り組もう！

積極的に公共交通機関を利用しよう！

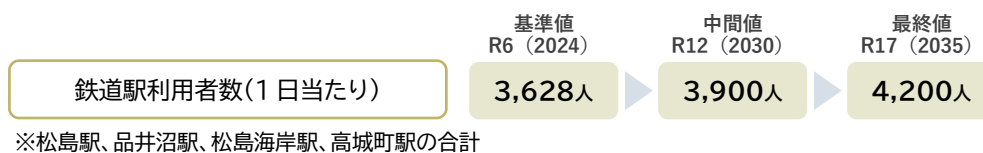
地域の交通の将来について考えてみよう！



主な施策と数値目標

1 公共交通の利用促進

- 鉄道の利用促進を図ります。
- 鉄道事業者と協力し、松島駅のバリアフリー化や駅前広場の整備の検討を進めます。
- 自家用車から公共交通への利用転換が自発的に行われるよう、意識啓発を図ります。



2 町民の移動手段の充実

- バスの運行改善や、地域住民との協働による地域内のバス等の運行により、誰もが快適で利用しやすい公共交通を実現します。
- 学校再編を想定しながら、子どもたちが快適に利用できるスクールバスの運用について検討します。



3 新たな交通体系の検討

- 渋滞緩和に向けて、AIやデジタル技術を活用した新たな交通サービスの活用に向けた検討を進めます。
- 来訪者向けにパークアンドライド*方式の検討を進めます。



松島町営バス



松島海岸駅

関連計画

国土利用計画、都市計画マスタープラン、バリアフリー基本構想、国土強靱化地域計画

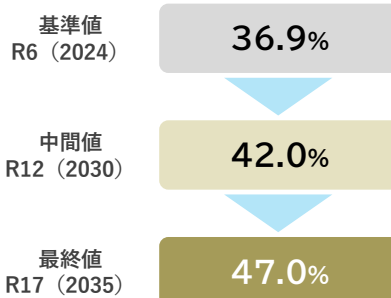


分野 3 道路環境

10年後の松島町は…

道路網の整備・改良が行なわれ、
誰もが町内外を安全かつ円滑に移動できています。

実現度を測る指標



該当する SDGs



町民から見る今の松島町

交通渋滞が解消されるといいな

町内外への移動が
しやすくなるといいな

歩道が狭かったり、草木が覆って
いて歩くと危ない箇所がある



みんなで取り組もう！

道路草刈・清掃等に
協力しよう！

地域の道路で危険な箇所が
あれば、行政に報告しよう！

通行の支障にならないように
自分たちで樹木の管理を
しよう！



主な施策と数値目標

1 幹線道路の整備促進

- 地域拠点間を結ぶ道路ネットワークを踏まえた主要幹線道路の整備を推進します。
- 交通の円滑化を図る道路整備を推進します。



2 町道等の整備及び維持・管理

- 道路の維持修繕、橋梁・トンネル等の道路施設の長寿命化対策を進めます。また、農道の維持改修等についても推進します。



3 松島海岸地区の安全・安心な道路空間の構築

- 国道45号、県道赤沼・松島線および松島海岸地区の慢性的な交通渋滞の対策に向けた取組を国・県と協働して、推進します。
- 歩行者の安全・安心な道路空間の整備を推進します。



根廻・磯崎線



根廻・磯崎線開通式

関連計画

国土利用計画、都市計画マスタープラン、バリアフリー基本構想、公共施設等総合管理計画、橋梁長寿命化修繕計画、トンネル長寿命化修繕計画、国土強靱化地域計画



分野4 公園・緑地

10年後の松島町は…

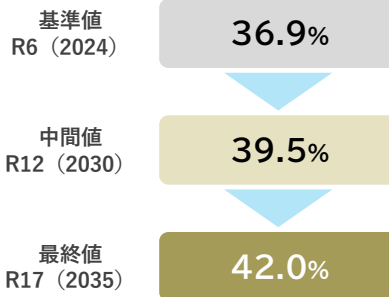
公園・緑地等の空間がもたらす憩いの中で、
町民が快適かつ安全・安心に暮らしています。

実現度を測る指標

該当する SDGs



町民満足度
(公園・緑地)



町民から見る今の松島町

松島町は海と山のたくさんの
自然を感じることができる！

子どもが気軽に遊べる
公園が増えるといいな

いつでも子どもが安全に
遊べる公園であってほしい！



みんなで取り組もう！

公園を適切に管理しよう！

公園を利用する際は、
ルールやマナーを守ろう！

町民・地域・行政が連携して
公園の清掃や維持管理活動に
努めよう！



主な施策と数値目標

1 適切な公園と緑地の維持・管理

- 計画的に既設公園・緑地内の公衆便所や園路等の改修を進めるほか、遊具や照明、フェンスの改築・更新等を行います。また、利用頻度の少ない施設の見直しを行います。



2 新たな遊び場の整備検討

- 町民のニーズを踏まえながら、新たな子どもの遊び場について検討します。



児童館遊具

関連計画

国土利用計画、都市計画マスタープラン、公共施設等総合管理計画、子育て支援施設及び児童公園個別施設設計画、バリアフリー基本構想、国土強靱化地域計画



分野 5 上水道・下水道

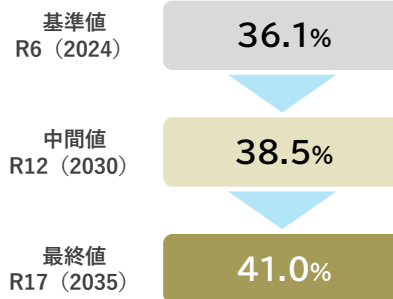
10年後の松島町は…

安全でおいしい水が安定的に供給されるとともに、快適で衛生的な生活環境や水質が確保されています。



実現度を測る指標

該当する SDGs



町民から見る今の松島町

水道が使いやすくなるといいな

豪雨の際の雨水の排水が心配

町全域で下水道の推進や浄化槽の促進を図り、きれいな水質を維持したいな



みんなで取り組もう！

水の大切さを認識し、水源を守ろう！

下水道が整備されたら、下水道に接続しよう！

節水を心がけ、水道水を適切に利用しよう！



主な施策と数値目標

1 安定した水道事業の運営

- 効率的な事業運営と経費節減に努め、収支のバランスを図り、健全で安定的な経営を行います。



2 上水道の適切な維持・管理

- 水質検査を継続的に実施し、安全な水の供給に努めます。
- 老朽化した施設・設備の適切な維持・管理を行い、施設の運用に与える影響等を勘案した上で、計画的な更新や耐震化に努めます。



3 下水道の適切な維持・管理

- 汚水処理場放流水質基準を遵守し、河川等の水質環境維持に努めます。
- 下水道区域内の未接続家屋等への水洗化指導・啓発により、接続率を向上させることにより、生活環境の向上に努めます。
- 既存の汚水施設及び雨水施設の適切な維持管理を進めながら、計画的な改築・更新に努めます。



関連計画

国土利用計画、都市計画マスタープラン、水道事業経営戦略、公共下水道事業経営戦略、水質検査計画、公共下水道ストックマネジメント計画、国土強靱化地域計画



分野 6 自然環境保全

10年後の松島町は…

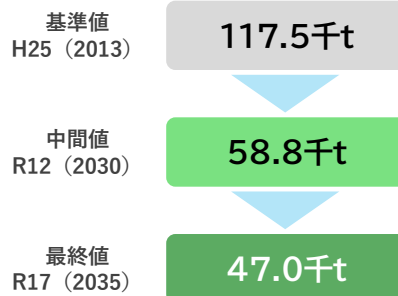
町民・事業者・行政それぞれが環境に配慮した取組を進め、環境課題に取り組んでいます。

松島の豊かな自然や美しい景観が守られ、町民と自然が共生しています。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

きれいで美しい松島をみんなで守りたい！

豊かな自然環境も松島の魅力のひとつ！

高齢化により地域の環境の維持が難しくなっている



みんなで取り組もう！

各家庭でごみを減らす努力とごみの分別をしっかりと行おう！

3R 運動(リデュース・リユース・リサイクル)を実践しよう！

地域の自然環境の大切さを知り、保全活動に協力しよう！



主な施策と数値目標

1 地球温暖化及び公害対策の推進

- 町が排出する温室効果ガスの削減に向け、公共施設の省エネルギー化、第三者所有モデル（PPA）*、再生可能エネルギーの導入促進等を進めます。
- 町民や来訪者への意識啓発、情報共有等により公害防止対策を推進します。



2 環境衛生対策の推進

- ごみの減量化・資源化に関する情報の発信や資源ごみ回収等により、ごみの排出量の抑制やリサイクル意識の向上に取り組みます。
- 資源ごみを効率的かつ適正に処理し、再資源化を推進するとともに、資源化できない廃棄物は宮城東部衛生処理組合処理場で適正かつ安定的に処理を行います。
- 所有者の特定が困難な空き家については、「空き家等対策の推進に関する特別措置法*」を適用して所有者等を特定し、適切な指導や必要な手続きを進めます。



3 景観の保全

- 優れた美しい自然の風景地を保護していくため、国や県と連携し、良好な自然環境の保全に努めます。
- 町民協働による活動を促進し、地域コミュニティや町民主体による環境保全活動の支援を推進します。
- 里山の整備や耕作放棄地の解消等、農村景観の維持に取り組みます。
- 松林における松くい虫被害の予防や防除等の対策を計画的に推進します。



関連計画

地球温暖化対策実行計画、国土利用計画、都市計画マスタープラン、国土強靱化地域計画、景観計画



分野 7 交通安全・防犯

10年後の松島町は…

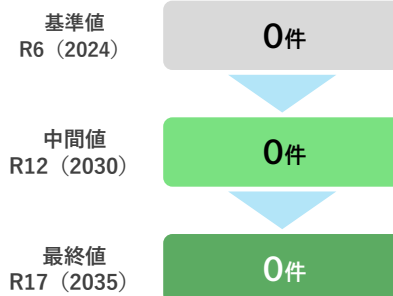
必要な場所に適切な交通安全施設の整備がされているとともに、町民が交通安全意識を高く持っています。

様々な犯罪抑止対策により、町民が安全に安心して暮らしています。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

子どもの登下校時に
交通量が多く不安な箇所がある

信号機があるといいなと思う
箇所がある

誰もが安心して生活できるように
なるといいな



みんなで取り組もう！

自動車・自転車・歩行者
それぞれが交通マナーを
高めよう！

一人ひとりが防犯意識を高め、
自分でできる防犯を
考えよう！

隣近所の声かけと地域ぐるみの
防犯パトロールに積極的に
参加しよう！



主な施策と数値目標

1 交通安全の推進

- 安全な歩行空間を確保するため、歩道や交通施設及び標識の整備更新を行います。
- 交通安全教室等を関係団体と連携して実施するとともに、各種啓発活動を積極的に推進するなど、交通安全意識の向上に取り組みます。



2 防犯活動の推進

- 警察や防犯関係団体と連携し、防犯意識の底上げに取り組みます。
- 自主防犯活動団体に対して、防犯活動に必要な支援を行うとともに、広報等により啓発活動を行います。
- 防犯活動従事者の知識の向上を図るための防犯研修会等を実施します。
- 悪質商法等への注意喚起や消費生活に関する意識の啓発を推進します。



交通安全指導

関連計画

地域防災計画



分野 8 消防・防災

10年後の松島町は…

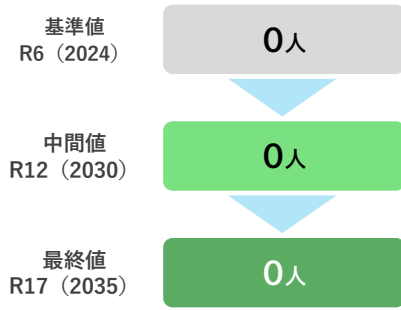
関係機関や町民と行政の協働による防災体制が確保され、災害に強いまちになっています。

消防団員の活動を支援する取組が地域に浸透しています。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

東日本大震災以降、まつしま防災学等の取組により防災意識が高まっている

地震だけでなく、集中豪雨等の災害にも備える必要がある

近所の人とのつながりが安全・防災につながってほしい



みんなで取り組もう！

非常時の連絡網の整備や要援護者の把握等、地域ぐるみで防災活動を推進しよう！

防災訓練や防災研修会等に積極的に参加しよう！

地域ぐるみで消防意識を育もう！



主な施策と数値目標

1 防災意識の向上及び支援体制の構築

- 防災に関する情報を発信し、町民一人ひとりの防災意識の啓発と防災行動力の向上を図りながら、自主防災組織の活動及び防災リーダーの育成を支援します。
- 要配慮者の視点に立ち、避難行動要支援者名簿の作成や福祉避難所との連携強化を図るなど避難支援対策の充実に取り組みます。
- 「まつしま防災学*」をはじめとした各種取組等を通して防災への意識を醸成し、平常時からの備えと災害時の自主的な防災活動の促進を図ります。



2 災害に強い基盤づくり

- 防災及び災害情報を速やかに収集し、適時的確に伝達できる防災体制を確立します。
- 急傾斜地崩壊危険区域等の災害発生危険度の高い箇所における防災対策について町民への周知を促します。
- 木造住宅の耐震化促進や危険なブロック塀等の除却を促進します。



3 消防力の充実

- 地域における消防団活動の支援と団員の確保に努めます。
- 複雑多様化する災害に対応するため、消防署や消防資機材の計画的な整備更新を行います。



総合防災訓練

関連計画

地域防災計画、都市計画マスタープラン、バリアフリー基本構想、国土強靱化地域計画、高齢者福祉計画・介護保険事業計画



分野 9 地域福祉・ 社会保障

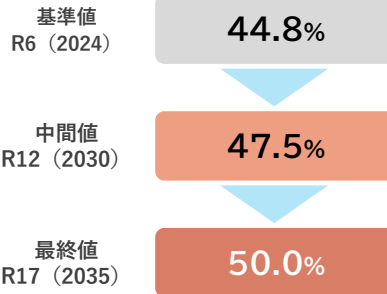
10年後の松島町は…

互いの理解と助け合いにより
安心して暮らせるまちづくりが進んでいます。
町民の最低限度の生活が保障され、
自立した生活を送ることができています。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

地域ごとに特色のある
取組がみられる

隣近所の関係性が希薄になって
いる地域もみられる

個人の悩みや困りごとを
早期に見つけ、素早く解決できる
仕組みがあるとよい

みんなで取り組もう！

あいさつや世間話ができる
ような、地域での関係性を
築こう！

地域内での集まりや活動等、
身近な場所での相談機会を
つくろう！

周囲の人の変化に気づいたら、
声をかけ、相談窓口
つなごう！



主な施策と数値目標

1 地域福祉活動の推進

- 地域住民組織や民間支援団体と連携を深め、重層的支援体制整備事業*の充実に取り組みます。
- 民生委員児童委員協議会や自治会等が行う地域福祉活動を支援します。
- 社会福祉協議会等、福祉団体との連携強化に取り組みます。



2 生活の安定と援護

- 生活困窮者に対し、関係機関と連携して、相談者の状況に応じた包括的な相談対応や支援を行います。
- 成年後見制度*に関する地域連携ネットワークの構築に取り組みます。
- 複合的な課題を抱えたケースへの対応のため、多機関の連携による支援に取り組みます。



3 社会保障制度の適切な運用

- 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険制度等の安定した運営に努めます。



関連計画

バリアフリー基本構想、国土強靱化地域計画



分野 10 保健・医療

10年後の松島町は…

健康寿命が延伸しています。
町民一人ひとりが症状に応じた適切な医療サービスを受けることができます。



該当する SDGs



実現度を測る指標



基準値 R4 (2022)	男 78.89 女 83.25
中間値 R12 (2030)	基準値より延伸
最終値 R17 (2035)	中間値より延伸

出典:「データからみたみやぎの健康」

町民から見る今の松島町

まずは町民一人ひとりが健康に過ごすことが重要！

必要なときに必要な医療を受けることができる仕組みが必要

一人暮らしの高齢者が出歩ける機会が増えるとよい



みんなで取り組もう！

食生活や運動に留意し、健康づくりに励もう！

健康づくりについての情報提供や教室等を積極的に活用しよう！

各種健診(検診)を積極的に受けよう！



主な施策と数値目標

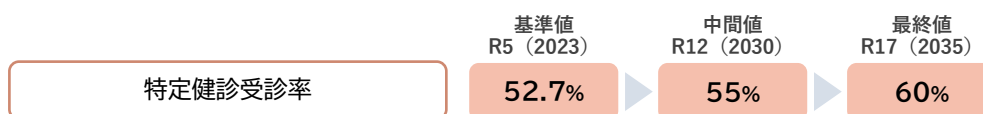
1 健康づくりの推進

- 乳幼児期から高齢期までライフステージに合わせた健康づくりの普及啓発を推進します。
- 健康を自己管理できる環境づくりを推進します。
- 感染症やワクチンに関する知識の普及啓発、各種広報による予防接種率の向上、新たな感染症への対応を迅速に行います。また、平時から医師会や関係機関と情報共有を図り、感染症発生時に速やかに対応できる体制を構築します。
- こころの健康や自死対策に関する正しい知識の普及啓発に取り組みます。



2 生活習慣病の発症・重症化予防

- がん、糖尿病、高血圧、腎臓病等の疾病の早期発見・早期治療につながる健診（検診）事業等、生活習慣病対策を推進します。
- 保健、医療、介護に関するデータを分析し、医師会や関係機関と連携して町民の健康課題への対応に取り組みます。



3 医療体制の充実

- 町民一人ひとりが症状に応じた適切な医療サービスを受けられるよう、今後の社会情勢に合わせた医療体制について、医師会、関係機関、近隣自治体と連携して取り組みます。
- 地域全体で切れ目のない医療が提供できるよう、在宅医療の支援を推進します。



関連計画

健康増進総合計画（健康増進計画・自死対策計画）



分野 11 子ども・子育て支援

10年後の松島町は…

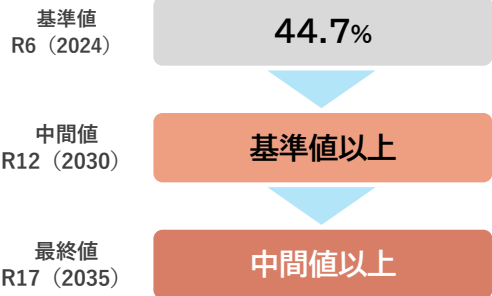
すべての子どもが健やかに成長できる環境づくりが進んでいます。

子育ての喜びを感じられるような支援体制が整っています。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

子育て支援の充実を機に松島町に来てもらえる人を増やしたい

松島の環境を活かして子育て支援がもっと充実するといいな

子どもの明るい未来が感じられる子育てに優しい町にしてほしい

みんなで取り組もう！

地域の子どもを温かく見守り、子育て家庭を支援しよう！

地域の保育施設や留守家庭児童学級等、施設への理解と協力を努めよう！

地域で協力して、子どもの居場所をつくろう！



主な施策と数値目標

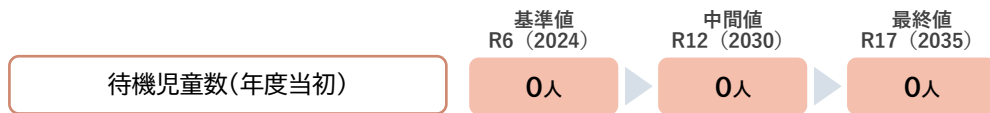
1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- 他機関・他職種と連携し子育てについての相談やサポートを実施します。
- 情報発信や相談対応を充実し、子育て家庭の不安や負担を軽減します。
- 保護者や保育士等が子どもの特性を理解して育児に取り組めるよう、各種教室・研修や相談事業を実施します。
- 保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校及び発達支援事業所等との連携体制を構築します。



2 保育サービス・幼児教育の充実

- 子どもを取り巻く家庭や環境の多様化に対応するため、保育の質を高める保育士の育成及び保育施設の整備に取り組みます。



3 子育て家庭への経済的支援の充実

- 妊婦支援給付金による伴走型相談支援*と経済的支援を一体的に実施します。
- 児童手当の給付や子ども医療費、母子・父子家庭医療費の給付等による経済的支援を行います。
- 小学校や中学校に入学する際に「小中学校入学祝金」を支給することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。



4 子どもの権利擁護

- 子ども家庭相談や増加する児童虐待相談に対応できるよう体制強化に取り組みます。



関連計画 子ども・子育て支援事業計画、子育て支援施設及び児童公園個別施設計画



分野 12 高齢者福祉・介護予防

10年後の松島町は…

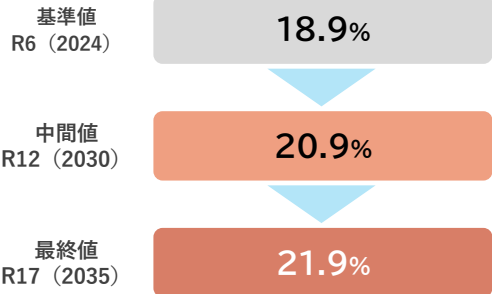
高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができています。

住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアが構築されています。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

高齢者が増加しており、高齢者が健やかに過ごせる環境が必要

見守り等の必要がある人が増えている

高齢者サービスについて、もっと情報を知りたい



みんなで取り組もう！

地域の高齢者の見守りや声かけを行おう！

介護予防、認知症予防に取り組もう！



主な施策と数値目標

1 介護予防の充実

- 高齢になっても、できるだけ要介護状態にならず自らの意思において決定する力を維持でき、また、高齢者が集い交流することで、地域住民による介護予防活動が主体的に行われるよう支援します。



2 認知症施策の充実

- 多くの町民が認知症に関心を寄せ、高齢者が認知症予防に取り組み、認知症になっても家族や地域住民の理解と見守り、支え合いのもと、尊厳を持って安心して暮らすことができるよう支援します。



3 在宅医療・介護連携の充実

- 疾病を抱えても、自宅等の住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けられるために、関係機関が連携し、多職種協働により、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するための取組を推進します。



4 生活支援の充実

- 今後の認知症高齢者や単身高齢者世帯等の増加を踏まえ、在宅生活を継続するための日常的な支援（配食、見守り等）を行います。
- 高齢者の社会参加を推進することを通じて、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍するなど、高齢者が社会的役割をもつことで、生きがいや介護予防にもつなげられるよう支援していきます。



関連計画

高齢者福祉計画・介護保険事業計画、バリアフリー基本構想



分野 13 障がい者（児）福祉

10年後の松島町は…

障がい者を支える福祉サービスが充実し、
住み慣れた地域で安心して暮らせる体制が
整っています。

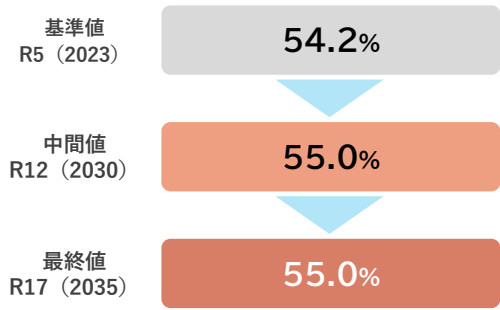
障がいの有無に関わらず、誰もが互いに
人格と個性を尊重し合って暮らしています。

該当する SDGs



実現度を測る指標

障がい者にとって
暮らしやすいまち
だと思う割合



町民から見る今の松島町

障がいがあっても、自分らしく
暮らせる松島になるといいな

障がいのある子どもが日中に
過ごせる場があるとよい



みんなで取り組もう！

障がいの有無に関わらず
交流を図り、互いの理解を
深めよう！

地域の障がい者の見守りや
必要な支援を行おう！



主な施策と数値目標

1 生活自立の支援

- 障がい者が自立した生活を送れるよう、補装具の支給、自立支援医療費等の支援を行います。
- 障がい者やその介護者に対し、経済的負担の軽減を図り、生活の安定や自立、医療的治癒を促進します。
- 宮城東部地域自立支援協議会と連携し、障がい者からの相談対応やサービスの利用に対応します。



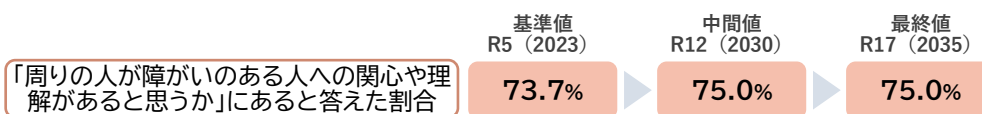
2 社会参加の促進

- 雇用されることが困難な障がい者に対し、生活指導や作業訓練を行い、自立を支援します。
- 地域活動支援センターや日中一時支援事業、移動にかかる費用の助成等、障がい者の地域における生活を支援します。



3 障がい者への理解促進・合理的配慮

- 学校や職場、地域社会等、様々な場における啓発活動や障がい当事者及び関係機関等が行う福祉教育の充実に努めます。
- 障がいの有無にかかわらず、地域で支え合うことができるよう、地域における様々な団体等と連携した啓発活動に努めます。
- 障がい者のスポーツ・文化活動の機会の充実に努めるとともに、参加の拡大に向けて広く周知します。



関連計画

障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画、
バリアフリー基本構想、障がい者活躍推進計画



分野 14 学校教育

10年後の松島町は…

「誇りと絆を育み しなやかに生きる松島人」が育まれています。

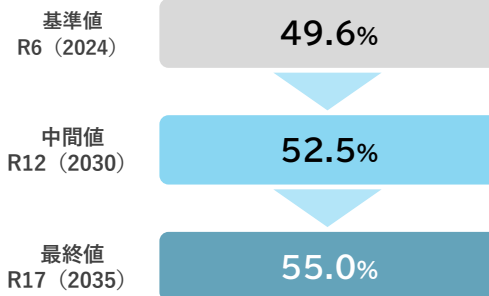
松島で育ったことが誇りとなり、学力・自己肯定感・地域で培った実践力を備えた人が育っています。

該当する SDGs



実現度を測る指標

町民満足度
(学校教育)

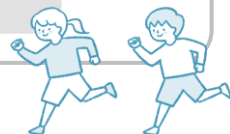


町民から見る今の松島町

松島の資源や環境を活かした教育プログラムが充実するといいな

登下校がもっと安全で便利になるといいな

大人になっても松島町が好きでいてもらえるような取組が必要



みんなで取り組もう！

将来を語り合い、子どもの明るい未来を思い描く時間を大切にしよう！

子どもが松島で育つ誇りを感じられる関わりを上げよう！

学校や地域の交流で、子どもの成長を支えよう！



主な施策と数値目標

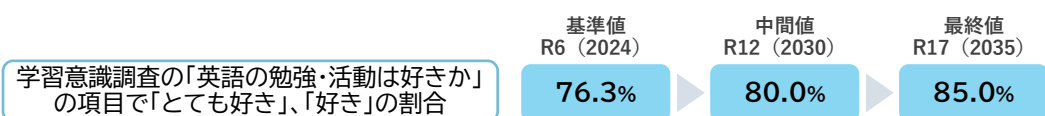
1 教育環境の整備

- 質の高い学習環境の整備を図り、地域の特性を活かした先進的で持続可能な教育の実現を目指します。
- 学校規模の適正化を図るため、保護者や町民への説明や意見交換を重ね、学校の再編を推進します。
- 学校施設の長寿命化やエアコン設置等、安全で快適な学習環境の維持管理に取り組みます。
- 児童・生徒が安全安心に通学できるよう、通学路の安全性向上に努めます。
- GIGAスクール構想*を推進するため、教育機器を整備します。



2 教育内容の充実

- 松島の資源を活かした教育プログラムを実践し、ふるさと松島の歴史・文化を継承します。
- 子ども国際観光科について継続的に取り組み、グローバル化に対応した外国語教育の充実に努めます。
- 松島産・県内産の食材を取り入れた地産地消給食の提供に努めます。また、給食施設の適切な維持管理を行います。さらに、食育の推進と健康・体力づくり、安全確保の教育充実に努め、心身ともに健やかな児童・生徒の育成に取り組みます。
- 不登校等の問題を抱えた児童生徒や保護者・学校関係者を対象に、社会的に自立を目指すことができるよう支援していきます。



運動会



吹奏楽部練習

関連計画

教育振興基本計画、学校施設長寿命化計画、子ども読書活動推進計画、国土強靱化地域計画



分野 15 生涯学習・生涯スポーツ

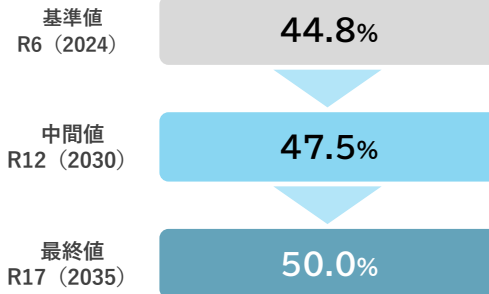
10年後の松島町は…

生涯学習・社会教育を通じた学びや自主的・自発的な活動が生まれ、人と人とのつながりや地域の活性化が図られています。町民が生涯にわたりスポーツを楽しんでいます。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

大人になっても学んだり特技を活かせる場があるといいな

誰もが気軽にスポーツできる場所があるといいな



みんなで取り組もう！

地域や関係機関が連携し、地域のことや地域で働くことについて、学び体験する機会をつくろう！

一人ひとりが生涯学習活動に積極的に参加しよう！

身近な地域でスポーツができる機会づくりに取り組もう！



主な施策と数値目標

1 社会教育施設・社会体育施設の充実

- 社会教育施設・社会体育施設の適正な管理運営等を行います。
- 小中学校の体育館や校庭等の学校施設を開放し、町民が気軽にスポーツができる環境整備に取り組みます。



2 地域学校協働活動の推進

- 地域住民や関係団体等の協力を得ながら地域学校協働活動の充実を図り、学校と地域の連携・協働を進めます。
- 様々な分野における専門知識や技術を伝えることのできる地域の人材、ボランティア等を確保し、児童生徒が多様な経験ができる機会の提供に努めます。



3 公民館事業等の充実

- 様々な年代の町民のニーズに応じた講座が開催できるよう、学習プログラムの研究に努めるとともに、地域に根ざした特色ある事業を展開します。
- 生涯学習の機会に関する情報発信の強化に努め、町民の自発的・自主的な生涯学習活動を支援します。
- 社会教育関係団体と協働の事業を推進するとともに、団体が自主的に行う事業を支援します。
- 町民主体の文化芸術活動を支援し、活動に関わる人の輪を広げるとともに、町民が優れた文化芸術に触れる機会を提供します。



4 生涯スポーツ活動の支援

- 町民が日常的にスポーツに親しめるよう各種教室やイベント等を開催します。
- 関係団体と協力しスポーツイベントの開催を通じてスポーツの振興を図るとともに、スポーツの魅力を広く発信します。



関連計画

教育振興基本計画、社会教育施設長寿命化計画、国土強靱化地域計画



分野 16 文化財保護・文化遺産

10年後の松島町は…

文化財が保存・継承され、
文化財を大切に思う気持ちが醸成されています。

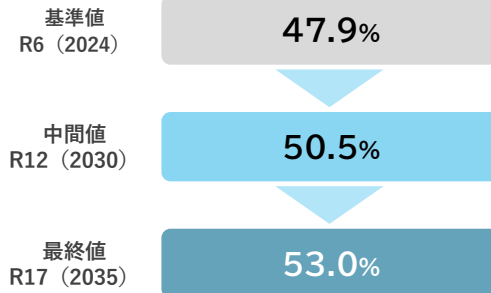
文化財の活用を推進することにより、
町内外からの関心が高まっています。

該当する SDGs



実現度を測る指標

町民満足度
(文化遺産)



町民から見る今の松島町

地域のお祭りや伝統芸能を
後世に残していきたい！

まだまだ知られていない松島町の
文化財を PR できるとよい

みんなで取り組もう！

文化財の保護や活用に関心を
持ち、積極的に参画しよう！

松島町の歴史や伝統について
積極的に関わろう！



主な施策と数値目標

1 文化財の調査・研究

- 文化財を将来にわたり町民の財産として継承していくため、専門家の指導を得ながら適正な調査・研究を実施します。



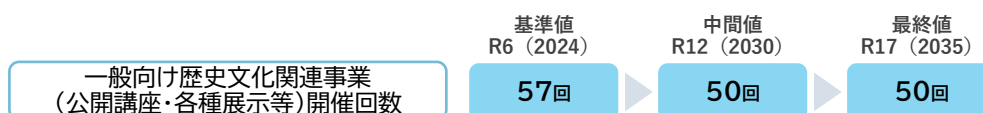
2 文化財の保護

- 文化財保護法や松島町文化財保護条例に基づき、指定文化財の保護に努めます。
- 開発行為等に対しては事前協議を行い、必要に応じて立会調査による指導及び発掘調査等を適切に実施し、埋蔵文化財の保護を図ります。



3 文化財の活用

- 町民が地域への愛着と誇りを持てるように、公開講座等の開催やリーフレットの刊行、案内板の整備、ウェブサイトの活用、学校教育との連携等を通じて、文化財に関する効果的な周知及び広報活動を推進します。
- 貴重な文化財資料の展示について、更なる有効活用を図ります。また、その他文化財関連施設の充実と効果的な運営を図ります。



古文書調査



文化財防火デー

関連計画

教育振興基本計画、都市計画マスタープラン、バリアフリー基本構想、歴史文化基本構想、景観計画



分野 17 農林水産業

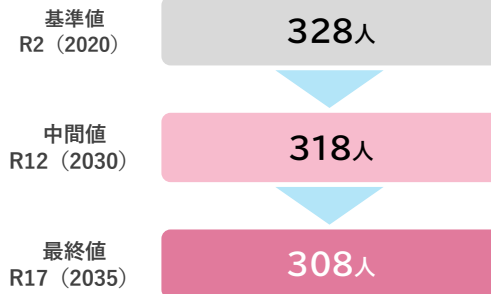
10年後の松島町は…

農地の集約化により効率的な活用が進み、
多様な農作物が盛んに生産されています。
水産物の生産が安定し、後継者が育成されています。



実現度を測る指標

該当する SDGs



町民から見る今の松島町

農業や漁業は後継者不足が心配…

松島町の農産物・海産物を
町内で購入・食事できる機会が
増えるといいな

農林業・水産業と他の分野を組み
合わせてることができるといいな



みんなで取り組もう！

地域農産物・海産物等の
購入を心がけよう！

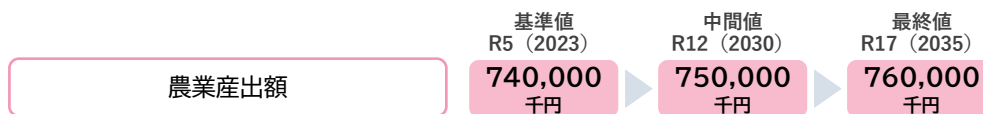
農業・漁業体験等のイベントに
参加してみよう！



主な施策と数値目標

1 農林業の推進

- 農業・農村の有する多面的機能の低下を防ぎ、地域の共同活動や営農の継続を目指す取組を支援します。
- 農地の大区画化や排水対策、農業施設等の生産基盤の整備を行い、農業競争力を強化します。
- 有害鳥獣対策を行います。
- 生産性や収益の向上を図るため、スマート農業*の取組を支援します。



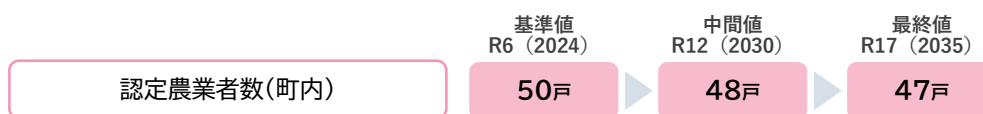
2 漁業の推進

- 浅海養殖栽培漁業に対する支援を行うとともに、漁業協同組合が実施する漁場環境の改善、資源の育成、生産性の向上等の事業やカキ等の新たな増養殖に対して、県と連携し、支援します。
- 漁港施設の長寿命化を図りつつ、維持管理コストの平準化・縮減に取り組みます。



3 経営体の育成、人材確保

- 農地中間管理事業を活用し、農地の集約化を促進することで、農業生産の効率化に取り組みます。
- 各種就農支援体制の充実を図り、担い手育成に取り組みます。
- 水産業の担い手確保に向け、就業希望者への情報提供等の支援を行います。



4 高付加価値化、販路拡大

- 地域資源を活用した農産物・海産物のブランド化および地産地消を推進します。
- 漁業協同組合・県と連携し、販売促進に取り組みます。
- 高付加価値型作物の導入や水稻から高収益作物への転換等について支援します。



関連計画

国土利用計画、国土強靱化地域計画、地域農業経営基盤強化促進計画



分野 18 商工業

10年後の松島町は…

中小企業や個人商店等の経営強化が進んでいます。
町の特徴を活かした産業振興が図られています。

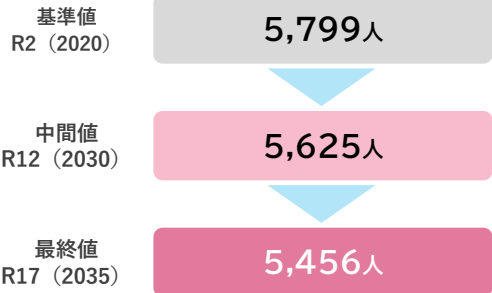


実現度を測る指標

該当する SDGs



第2次・第3次
産業就業者数



町民から見る今の松島町

町内に元気な会社が
増えるといいな

食料品や日用品を購入する場の
選択肢が増えるといいな

松島の特徴を活かした企業同士の
連携が増えるといいな



みんなで取り組もう！

町内の産業・工業を知り、
応援しよう！

町内の商店・商店街で
買物をしよう！

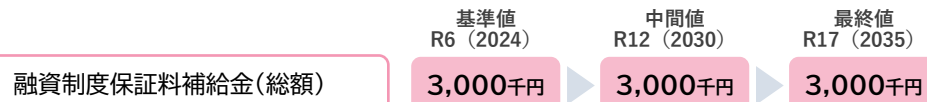
町内で働く人と積極的に
交流しよう！



主な施策と数値目標

1 中小企業の支援

- 商工会や金融機関と連携し、運転・設備資金の円滑な調達や利子補給による負担軽減等に取り組めます。
- 経営者の高齢化や後継者の不在による事業の廃業を防止し、地域に働く場を創出する事業継承の支援をします。
- 経営革新等により生産性向上に積極的に取り組む中小企業を支援します。
- 商店街活動、個人店の魅力づくりや共同施設の整備等を支援し、商店街の活性化を図ります。



2 起業・創業支援

- 起業に関して商工会等と協力し、創業支援事業*を行います。
- 起業・創業に関する空き家等の活用やマッチングについて検討します。



3 松島町のブランド化

- 地域ブランド化に向けたPR促進や6次産業を推進し、松島町のブランド力を高めます。



関連計画

景観計画、観光振興計画



分野 19 観光業

10年後の松島町は…

松島町の魅力や地域資源が活かされ、
松島町でしか味わえないやすらぎと感動を求めて
多くの人が松島町を訪問し、町民と交流しています。



実現度を測る指標

該当する SDGs



町民から見る今の松島町

日本三景松島以外にも
町の魅力はたくさん！
多くの人に知ってほしい！

歴史や豊かな自然を活かして
様々な観光コンテンツが
増えるといいな

観光客にとっても、町民にとっても
過ごしやすい場所になるといいな

みんなで取り組もう！

地域の魅力について、周りの人
に伝えたり、発信してみよう！

松島町の特産品を
積極的にPRしよう！



主な施策と数値目標

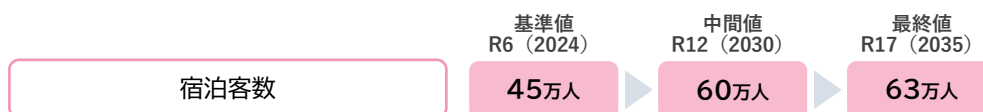
1 観光コンテンツの充実

- 良好な自然環境や多彩な歴史的資源を活かし、その魅力を活かす取組を推進します。
- 滞在時間に応じた複数の体験型観光メニューを充実させるとともに、「また来たい」と思わせる魅力あるプログラムを構築します。
- 地産地消による「松島の味」の質の向上と、若者や他業種が連携するなど、松島ならではの感動を呼ぶ美味しいメニューの開発に取り組みます。
- 近隣自治体との連携を含め、夜の松島の魅力づくりと合わせた朝の魅力の発信・PRにより、宿泊型観光コンテンツの充実を図ります。



2 宿泊型観光コンテンツの充実

- 近隣市町との連携を含め、夜の松島の魅力の発信・PRにより、宿泊型観光コンテンツの充実を図ります。
- 滞在型観光に結びつけるため、夜の観光プログラムの充実を図ります。
- 松島の朝の魅力を再発見するとともに、「早朝の松島」のブランド化を推進します。



3 インバウンドの推進

- アジア圏や欧米等の国外の都市との連携による観光交流を通じて、松島の魅力を情報発信するとともに、戦略的なプロモーション活動を推進します。



松島高校生による英語観光ガイド

関連計画

観光振興計画、バリアフリー基本構想、景観計画



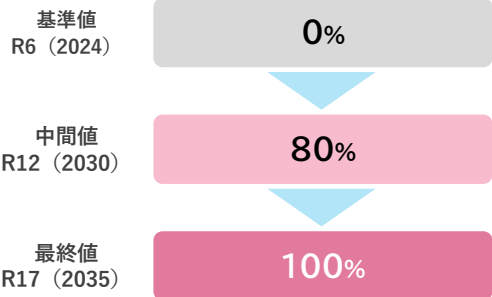
分野 20 企業誘致

10年後の松島町は…

松島イノベーションヒルズ*を中心に多くの企業が松島町に誘致され地域経済の活性化が図られています。



実現度を測る指標



該当する SDGs



町民から見る今の松島町

松島町に新しい企業や雇用の機会が増えるといいな

松島町で起業できるような補助や支援があるといいな

働く場があると人の流入も期待できるかも



みんなで取り組もう！

町内での創業や就業に努めよう！

町内にはどんな仕事があるのか、興味を持とう！



主な施策と数値目標

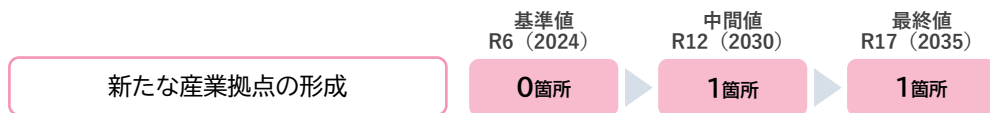
1 町内における商工業用地の活用

- 町内における商工業用地について、企業立地動向に柔軟に対応しながら企業誘致を促進します。



2 企業誘致の推進

- インターチェンジ周辺地区を中心に、立地を活かした企業誘致を進めます。
- 企業ニーズに応じた各種優遇制度の見直しを行うことにより、企業立地を促進します。
- 企業の受け皿となる新たな産業用地の拠点を創出します。



松島イノベーションヒルズ

関連計画

国土利用計画、都市計画マスタープラン



分野 21 定住促進

10年後の松島町は…

松島町の様々な魅力やまちづくりに関する考え方が町内外で広く共有され、それに共感する人が松島町に移住・定住し、幸せに暮らしています。

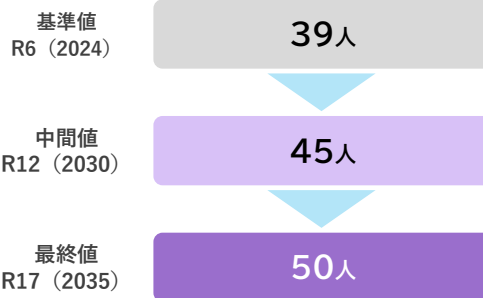


実現度を測る指標

該当する SDGs



首都圏からの
転入者数
(年)



町民から見る今の松島町

新しく人が入ってきやすい
取組が必要

定住と仕事、子育て支援等を
合わせて PR していく必要がある

移住に関する情報発信の機会が
もっと増えるといいな



みんなで取り組もう！

松島町の暮らしやすさや魅力
を積極的に発信しよう！

移住してきた人と積極的に
交流しよう！

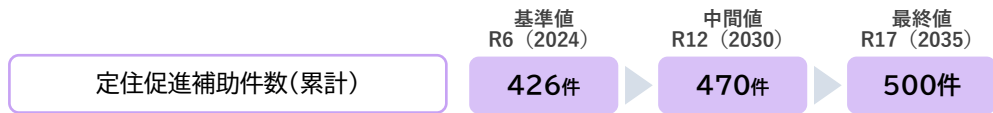
まちへの愛着と誇りを持って
生活しよう！



主な施策と数値目標

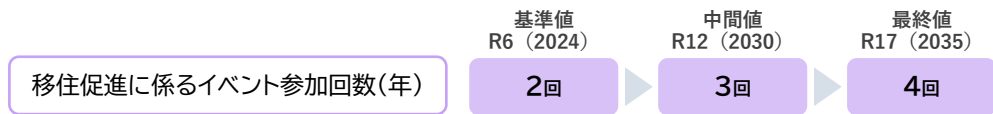
1 住まいの確保、提供

- 定住希望者のニーズを把握し、町内に居住する若者やUIターン*者向けの住宅地の整備や確保に努めます。



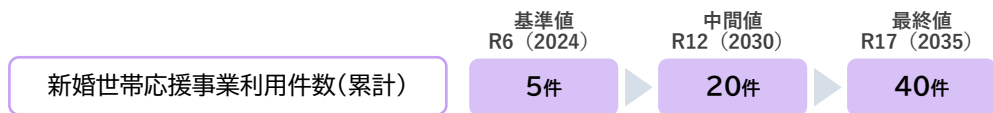
2 移住に関する情報発信、コーディネート

- 関係機関等との連携を強化し、移住・定住希望者が求める情報を適宜提供します。



3 結婚支援による定住の促進

- 結婚に魅力を感じてもらい、結婚へのステップを進めていくために、交流企画や新生活支援等、年代別に応じた結婚支援に取り組みます。



みやぎ移住・定住フェア

関連計画 国土利用計画、都市計画マスタープラン



分野 22 住民参加・地域コミュニティ

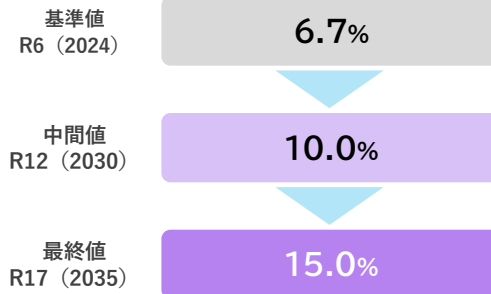
10年後の松島町は…

地域力の向上や町民主体による地域活動の活性化、町政への参加等、町民と行政が協力しながらまちづくりが推進されています。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

地域のつながりが薄れていると感じる

地域行事への参加が増えるといいな

地域と学校とのつながりが強い地域が多い



みんなで取り組もう！

町政やまちづくりに関心を持ち、積極的に情報収集を行おう！

地域行事や町民活動への積極的な参加や協力することを心がけよう！



主な施策と数値目標

1 住民参加の拡大

- 町民活動に必要な施設の提供や町民活動に関する情報を収集発信し、団体間の交流やネットワーク化、NPO設立に向けた支援を行います。
- ボランティア活動を促進し、多様な主体の活動参加による支え合う地域づくりを進めます。



2 地域コミュニティの支援

- 地域コミュニティの各拠点を活用し、地域力の強化に取り組みます。
- 地域間の町民同士が積極的に交流を深める機会を創出します。
- 行政区等と連携し、集会施設の運営を行い、地区住民の利便性向上に取り組みます。



タウンミーティング



ふれあいスポーツ大会

関連計画

集会施設個別施設計画、国土強靱化地域計画、景観計画



分野 23 行財政

10年後の松島町は…

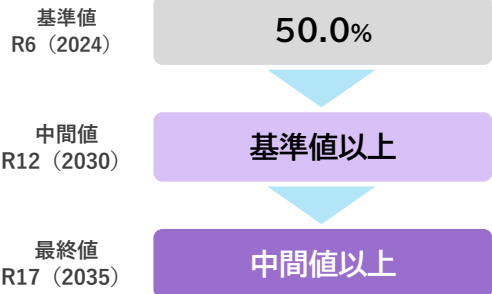
町民に対し、質の高い行政サービスが提供されているとともに、計画的かつ効果的で持続可能な行財政運営が行われています。

各自治体と連携し、交流が活発になっているとともに、効率的に行政サービスが提供されています。

該当する SDGs



実現度を測る指標



町民から見る今の松島町

健全な行財政を心がけてほしい

町外のような交流から、新しいつながりが生まれるかも！

みんなで取り組もう！

町民視点でのまちづくりが行われているか、町政に関心を持とう！

町の財政状況に関心を持とう！

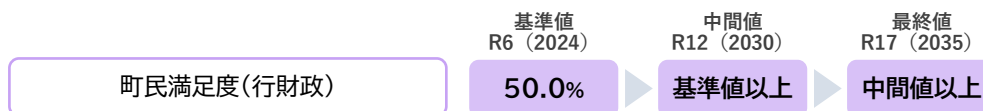
町外のような交流等積極的にまちづくりに関わりを持とう！



主な施策と数値目標

1 行政サービスの充実

- デジタル技術を活用した手続の迅速化等、さらなる町民サービスの向上を図ります。
- 町民に身近な窓口サービスのさらなる利便性向上を図ります。
- 多様な広報媒体において、町民目線で、分かりやすい町政情報の提供に努めます。



2 組織・人材マネジメントの推進

- 様々な行政課題に的確かつ機動的に対応できる組織体制を整備します。
- 高い意欲・能力、また豊富な知識・経験を有する人材の確保や、研修派遣等を通じた人材育成に取り組みます。
- デジタル技術の活用等により、事務のさらなる効率化を図ります。
- ワーク・ライフ・バランスの推進や女性職員の活躍促進等、職員が働きやすい職場環境づくりを進めます。



3 健全な財政運営

- 収支均衡した健全で持続可能な財政運営を行います。
- 町税収納率の向上に取り組み、安定した財源の確保に努めます。
- 町有財産の有効活用、ふるさと納税の促進等、収入の確保に取り組みます。
- 公共施設の適切な配置等を進める施設マネジメントを推進します。



4 広域連携の推進

- 各業務において、広域連携を推進します。
- 姉妹友好都市とのつながりを活かし、教育・文化等での交流を図ります。

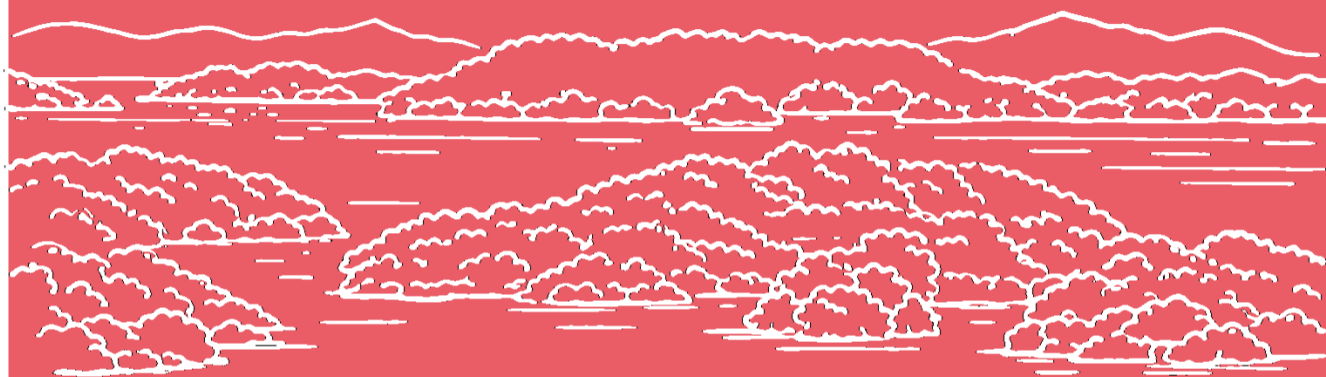


関連計画

公共施設等総合管理計画、障がい者活躍推進計画、男女共同参画基本計画

第4部

重点战略



第1章

重点戦略の概要

① 「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生」の連動

国では、少子高齢化の進展への対応や東京圏への人口集中の是正を目的として、まち・ひと・しごと創生法^{*}を制定し、令和元年12月には、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、地方創生の取組を進めてきました。

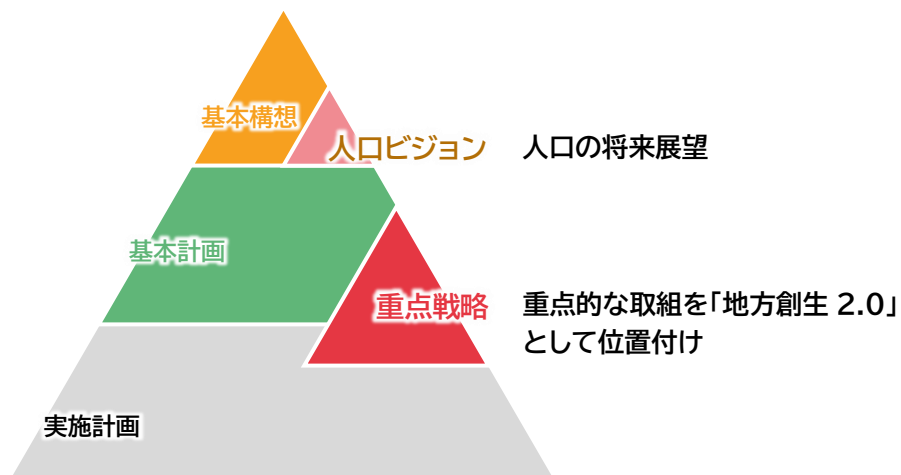
その後、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、国民の生活様式や働き方、地域との関わり方が大きく変化し、これまで十分に進んでいなかった分野も含め、デジタル技術の活用が急速に進展しました。

こうした状況を踏まえ、国は令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、地域の個性や資源を活かしながら、デジタルの力によって地方の課題解決と魅力向上を図る方針を示しました。さらに近年では、人口減少を前提としつつ、地域が自立的に発展していくことを重視する「地方創生2.0」の考え方が示され、関係人口の創出・拡大、産業と人材の好循環、官民連携や地域主体による取組の深化等が求められています。

松島町においては、まち・ひと・しごと創生法^{*}に基づき、「松島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、令和2年3月には松島町長期総合計画後期基本計画に重点戦略を位置付け、将来にわたって活力ある地域社会の維持・発展を目指し、各種施策を推進してきました。

人口減少対策と地域活性化は、今後10年間においても松島町にとって最重要の課題であることから、本計画を地方創生2.0の方向性と一体的に策定し、施策の推進、評価、改善を連動させながら、持続可能で選ばれるまちづくりを進めていきます。

総合計画とまち・ひと・しごと創生の連動イメージ



② 施策の体系

以下の4つの戦略を総合計画の分野と整合を図りながら設定します。

基本 目標	分野	重点戦略			
		1 定住	2 子育て	3 交流	4 産業
1	1 居住環境	●			
	2 公共交通	●			
	3 道路環境	●			
	4 公園・緑地	●	●		
	5 上水道・下水道	●			
2	6 自然環境保全	●			
	7 交通安全・防犯	●			
	8 消防・防災	●			
3	9 地域福祉・社会保障	●			
	10 保健・医療	●	●		
	11 子ども・子育て支援		●		
	12 高齢者福祉・介護予防	●			
	13 障がい者(児)福祉	●	●		
4	14 学校教育		●		
	15 生涯学習・生涯スポーツ		●		
	16 文化財保護・文化遺産			●	
5	17 農林水産業				●
	18 商工業				●
	19 観光業			●	●
	20 企業誘致				●
6	21 定住促進	●			●
	22 住民参加・地域コミュニティ			●	
	23 行財政			●	

3 地方創生2.0について

「地方創生2.0」とは、日本政府が推進してきた「地方創生」政策の進化版として、地域主体の持続的かつ自立的な成長を促す新たなステージを指す概念です。

国が示す地方創生2.0の考え方を踏まえ、人口減少・少子高齢化への対応と地域経済の持続的発展を図るため、本総合計画に重点戦略を位置付け、施策の選択と集中を図ります。

■地方創生2.0の基本構想の概要（内閣官房「地方創生2.0」閣議決定より）■

1. 目指す姿

「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が
「新しい日本・楽しい日本」を創る

①「強い」経済	②「豊かな」生活環境	③「新しい日本・楽しい日本」
自立的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出	生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出	若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方を創出

2. 地方創生2.0の基本姿勢・視点

人口減少への認識の変化

- 人口減少が続く事態を正面から受け止め、社会・経済が機能する適応策も講じる。
- 住民の基本的な生活の維持、経済成長、公共サービス維持やインフラ整備、まちづくりなどで、民の力を最大限活かすべく、官民連携をさらに推進。

若者や女性にも選ばれる地域

- 地域社会のアンコンシャス・バイアス*等の意識変革や魅力ある職場づくりにより、若者や女性が地方に残りたい、東京圏から地方に戻りたい／行きたいと思える地域をつくる。

人口減少が進行する中でも「稼げる」地方 ～新結合による高付加価値型の地方経済 (地方イノベーション創生構想)～

- 多様な食や伝統産業、自然環境や文化芸術の豊かさといったそれぞれの地域のポテンシャルを活かして高付加価値化するとともに、地域産品の海外展開などにより、自立的な地方経済を構築する。

AI・デジタルなどの新技術の徹底活用

- AI・デジタルなどの新技術を徹底活用し、地方経済と生活環境の創生を実現する。
- GX*・DXによって創出・成長する新たな産業の集積に向けたワット・ビット連携*などによるインフラ整備を進める。

都市と地方が互いに支え合い、 人材の好循環の創出

- 関係人口を活かし、都市と地方の間で人・モノ・技術の交流・循環・新たな結び付き、分野を越えた連携・協働の流れをつくる。

地方創生の好事例の普遍化と、 広域での展開を促進

- 産官学金労言士等による主体的な取組と、全国津々浦々で地方創生が進むよう、好事例の普遍化と広域での展開を促進(例:「広域リージョン連携*」)。

■地方創生2.0の基本構想の「政策の5本柱」の概要■



(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

- ・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
- ・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化を図る。

中項目	①若者や女性にも選ばれる地方となるための社会変革・意識変革	⑥交通・医療・介護・子育てなど生活必需サービスの維持・確保
	②魅力ある働き方・職場の創出	⑦将来を考えたまちづくり
	③地域に愛着を持ち、地域で活躍する人材の育成	⑧災害から地方を守るための国を挙げた防災力強化
	④多様な人々が活躍する地域社会の実現	⑨地域の防犯力強化と地方消費者行政の充実・強化
	⑤社会の情勢変化に適応可能な将来を見据えた地域のサービス拠点づくり	



(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生 ～地方イノベーション創生構想～

- ・多様な食、農林水産物や文化芸術等の地域のポテンシャルを最大限に活かし、多様な「新結合」で付加価値を生み出す「地方イノベーション創生構想」を推進する。
- ・構想の実現に向けて、異なる分野の施策、人材、技術の「新結合」を図る取組を重点的に推進する。

中項目	①施策の「新結合」:多様な地域資源の一体的な高付加価値化	③技術の「新結合」:AI・デジタル技術等の組合せ
	②人材の「新結合」:多様な主体の連携による地域の支援体制の構築とイノベティブな人材の呼び込み	④「新結合」を全国各地で生み出す取組



(3) 人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

- ・過度な東京一極集中の課題(地方は過疎、東京は過密)に対応した人や企業の地方分散を図る。
- ・政府関係機関の地方移転に取り組むとともに、関係人口を活かして都市と地方の人材交流を進め、地方への新たな人の流れを創出する。

中項目	①政府関係機関の地方移転	③地方における高等教育の充実
	②本社機能の地方分散	④関係人口の量的拡大・質的向上



(4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用

- ・GX・DXを活用した産業構造に向け、ワット・ビット連携などによる新時代のインフラ整備を面的に展開していく。
- ・AI・デジタルなどの新技術を活用し、ドローン配送などにより地方における社会課題の解決等を図り、誰もが豊かに暮らせる社会を実現する。

中項目	①GX・DX時代の新たな産業集積の形成に向けたインフラ整備	②デジタル・新技術の社会実装
		③デジタル技術の利活用に向けた環境整備



(5) 広域リージョン連携

- ・都道府県域や市町村域を超えて、地方公共団体と企業や大学、研究機関などの多様な主体が広域的に連携し、地域経済の成長につながる施策を面的に展開する。

中項目	①都道府県域を超える広域リージョン連携の枠組みの創設	③広域連携でのインフラ管理の推進
	②広域地方計画等に基づく「シームレス*な拠点連結型国土」の実現	④基幹的な道路・新幹線等の幹線鉄道等の交通ネットワークの整備

第2章

重点戦略の展開

重点戦略1 定住

松島町では、移住政策を実施し、人口減少対策を図ってきましたが、若年層を中心とした社会減は依然として続いています。国では地方創生2.0を掲げ、都市と地方の間で人材や技術を共有する「都市と地方の交流」や「関係人口」の創出を通じて、地方への人の流れを多様化し増加させる取組を展開しています。

松島を訪れた方に「いつかは住んでみたい」と感じてもらえ、また、町民が安心して「いつまでも住み続けたい」と思えるまちの形成を目指し、仕事や住まい、子育て環境等、生活全般の魅力を高めるとともに、地域の魅力を効果的に発信し、移住を考える一人ひとりに寄り添った取組を進めていきます。

■総合計画における該当分野■

分野1 居住環境	分野6 自然環境保全	分野12 高齢者福祉・介護予防
分野2 公共交通	分野7 交通安全・防犯	分野13 障がい者（児）福祉
分野3 道路環境	分野8 消防・防災	分野21 定住促進
分野4 公園・緑地	分野9 地域福祉・社会保障	
分野5 上水道・下水道	分野10 保健・医療	

■主な施策と成果指標■

施策	指標	基準値 R6 (2024)	中間値 R12 (2030)	最終値 R17 (2035)
1-1 持続可能な土地利用の推進	町民満足度(宅地整備)	39.7%	42.5%	45.0%
1-2 空き家の活用	空き家バンク登録件数	108件	140件	180件
4-2 新たな遊び場の整備検討	町民満足度(公園・緑地)	36.9%	39.5%	42.0%
5-3 下水道の適切な維持・管理	水洗化率	91.4%	97.4%	99.0%
6-1 地球温暖化及び公害対策の推進	温室効果ガスの排出量	117.5千t	58.8千t	47.0千t
7-1 交通安全の推進	交通事故による死亡件数	0件	0件	0件
8-1 防災意識の向上及び支援体制の構築	自主防災組織の結成率	75%	100%	100%
8-2 災害に強い基盤づくり	土砂災害による死者数	0人	0人	0人
8-3 消防力の充実	消防団員数	179人	200人	200人
9-3 社会保障制度の適切な運用	町民満足度(社会保障)	44.8%	47.5%	50.0%
21-1 住まいの確保、提供	定住促進補助件数(累計)	426件	470件	500件
21-2 移住に関する情報発信、コーディネート	移住促進に係るイベント参加回数(年)	2回	3回	4回
21-3 結婚支援による定住の促進	新婚世帯応援事業利用件数(累計)	5件	20件	40件

■「地方創生2.0」との関連性（政策の柱との対応）■

(1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

重点戦略2 子育て

松島町の出生数は減少にあるほか、男女ともに未婚率が増加している傾向にあります。

また、町民ニーズとして、医療環境の充実や経済的支援、子育てしやすい労働環境の整備が求められています。

これらを踏まえ、松島で暮らす町民が安心して子どもを産み育てられ、ふるさとに誇りを持ち地域づくりの一翼を担う人材を育むことができるまちの形成を目指し、子育て支援の充実、教育環境の向上に努めます。

また、学力向上はもちろんのこと、探究的な活動を通じて地域や社会について学ぶ機会を提供し、地域への愛着の醸成と豊かな人間形成を図ります。

■総合計画における該当分野■

分野4 公園・緑地	分野13 障がい者(児)福祉
分野10 保健・医療	分野14 学校教育
分野11 子ども・子育て支援	分野15 生涯学習・生涯スポーツ

■主な施策と成果指標■

施策	指標	基準値 R6 (2024)	中間値 R12 (2030)	最終値 R17 (2035)
11-1 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	乳児家庭全戸訪問事業実施率	97%	▶ 100%	▶ 100%
11-2 保育サービス・幼児教育の充実	待機児童数(年度当初)	0人	▶ 0人	▶ 0人
11-3 子育て家庭への経済的支援の充実	医療費助成率	100%	▶ 100%	▶ 100%
11-4 子どもの権利擁護	要保護児童対策地域協議会開催数(年)	3回	▶ 3回	▶ 3回
14-1 教育環境の整備	学校施設・設備の整備	—	▶ 適正な維持管理	▶ 修繕等業務の充実
14-2 教育内容の充実	学習意識調査の「英語の勉強・活動は好きか」の項目で「とても好き」、「好き」の割合	76.3%	▶ 80.0%	▶ 85.0%
15-2 地域学校協働活動の推進	地域学校協働活動実施回数(年)	90回	▶ 90回	▶ 90回

■「地方創生2.0」との関連性（政策の柱との対応）■

(1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

重点戦略3 交流

松島町では、観光が盛んな海岸部を中心に多くの来訪者を受け入れ、地域経済を支えてきましたが、町全体で観光力を高める体制づくりには依然として課題があります。国においても、観光を契機とした地方創生を重要な柱と位置付け、地域住民の参画や産業間連携、交流人口の拡大を通じて、地域全体の活力向上を図る取組が進められています。

松島を訪れる方に「何度も訪れたい」と感じてもらい、町民が誇りを持ち主体的に関わることのできるまちの形成を目指し、町全体で協働して「おもてなしの心」を育てていきます。

さらに、観光交流の推進と多様な産業間の連携強化、地域コミュニティの活性化、文化財の活用及び魅力の発信に取り組み、地域資源の魅力を最大限活かした観光の質向上と地域経済の好循環を生み出すことで、持続可能な観光地域づくりを推進します。

■総合計画における該当分野■

分野16 文化財保護・文化遺産

分野22 住民参加・地域コミュニティ

分野19 観光業

分野23 行財政

■主な施策と成果指標■

施策	指標	基準値 R6 (2024)	中間値 R12 (2030)	最終値 R17 (2035)
16-3 文化財の活用	一般向け歴史文化関連事業 (公開講座・各種展示等)開催回数	57回	50回	50回
19-1 観光コンテンツの充実	観光入込客数	313万人	315万人	315万人
19-2 宿泊型観光コンテンツの充実	宿泊客数	45万人	60万人	63万人
22-1 住民参加の拡大	「まちづくり」の取組や活動 等に参加している割合	6.7%	10.0%	15.0%
22-2 地域コミュニティの支援	行政相談・法律相談の開催回数 (年)	24回	24回	24回
23-1 行政サービスの充実	町民満足度(行財政)	50.0%	基準値以上	中間値以上
23-4 広域連携の推進	広域行政圏の取組継続	継続	継続	継続

■「地方創生2.0」との関連性（政策の柱との対応）■

- (1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタル等の新技術の徹底活用
- (5) 広域リージョン連携

重点戦略4 産業

松島町では、人口減少にともない就業人口についても減少傾向にあり、後継者の確保・育成等、既存産業の維持・活性化のほか、起業・創業等、新たな産業を呼び込むことが求められています。

また、近年デジタル化の急速な進展等、社会経済を取り巻く環境は大きく変化しており、地域においても新たな産業構造への対応が求められています。国においても、DX推進や産業転換支援を強化し、地域資源を活かした産業創出や企業誘致を通じて地方の活力向上を図る取組が進められています。

松島町においても、こうした社会潮流を的確に捉え、新たな産業の育成と企業誘致を進めることで、将来にわたり地域経済を支える基盤の強化を目指します。あわせて、基幹産業である農林水産業や観光業の価値向上に取り組み、地域資源を活かした商品開発や魅力発信、体験型観光の充実を推進します。さらに、町内外の多様な主体との連携を深め、交流人口・関係人口の拡大につなげ、持続的な地域活力を生み出す循環を構築していきます。

■総合計画における該当分野■

分野17 農林水産業	分野19 観光業	分野21 定住促進
分野18 商工業	分野20 企業誘致	

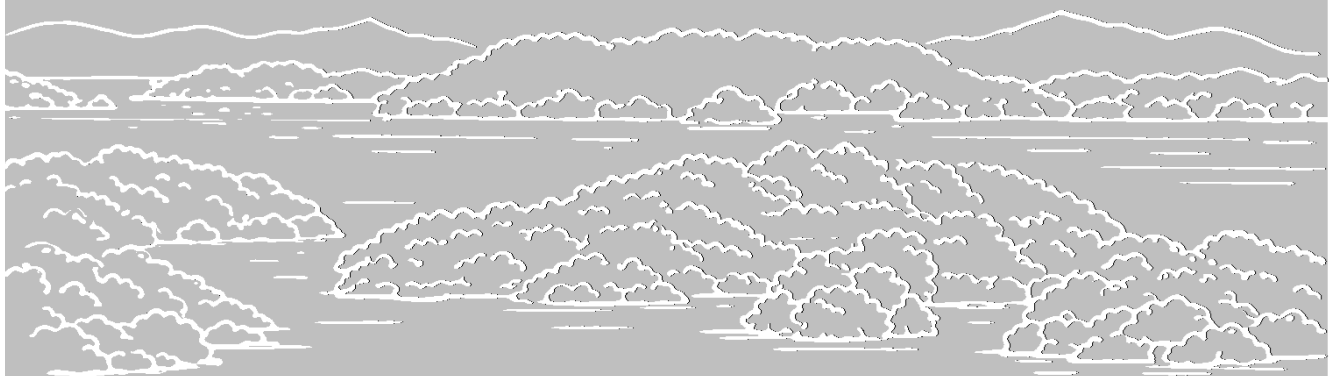
■主な施策と成果指標■

施策	指標	基準値 R6 (2024)	中間値 R12 (2030)	最終値 R17 (2035)
17-1 農林業の推進	農業産出額	740,000千円	750,000千円	760,000千円
17-2 漁業の推進	カキの水揚げ	20,680kg	21,000kg	19,700kg
17-3 経営体の育成、人材確保	認定農業者数(町内)	50戸	48戸	47戸
17-4 高付加価値化、販路拡大	高収益作物取組面積	21ha	23ha	25ha
18-1 中小企業の支援	融資制度保証料補給金(総額)	3,000千円	3,000千円	3,000千円
18-2 起業・創業支援	創業支援セミナー開催数	8回	8回	8回
18-3 松島町のブランド化	松島ブランド認定数	32件	34件	35件
19-1 観光コンテンツの充実	観光入込客数	313万人	315万人	315万人
19-2 宿泊型観光コンテンツの充実	宿泊客数	45万人	60万人	63万人
19-3 インバウンドの推進	外国人宿泊客数	11,963人	9,000人	9,000人
20-1 町内における商工業用地の活用	町内における商工業用地の活用割合	0%	80%	100%
20-2 企業誘致の推進	新たな産業拠点の形成	0箇所	1箇所	1箇所
21-1 住まいの確保、提供	定住促進補助件数(累計)	426件	470件	500件
21-2 移住に関する情報発信、コーディネート	移住促進に係るイベント参加回数(年)	2回	3回	4回
21-3 結婚支援による定住の促進	新婚世帯応援事業利用件数(累計)	5件	20件	40件

■「地方創生2.0」との関連性（政策の柱との対応）■

- (1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
- (3) 人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

資料編



1

用語解説

あ行

空き家等対策の推進に関する特別措置法

増え続ける空き家が防災・衛生・景観等に与える悪影響から住民生活を守り、空き家の活用を促進するために2015年に施行された法律です。この法律により、自治体は特定空き家(危険な空き家等)の所有者に対し、助言・指導・勧告・命令を通じて改善を促す権限を得て、改善されない場合は固定資産税の特例解除や行政代執行による撤去も可能になりました。

アンコンシャス・バイアス

過去の経験や知識、環境から形成された「無意識の思い込みや偏り」のことです。

か行

広域リージョン連携

人口減少や地域経済縮小に対応するため、都道府県の枠を超えて複数の自治体・企業・大学・研究機関等が一体となり、産業振興や観光、新興企業支援など特定の地域課題解決や成長戦略を推進する、政府主導の新たな地方創生枠組みです。

国立社会保障人口問題研究所(社人研)

日本の人口動向や社会保障制度について、国としての基礎的・専門的な調査研究を行う厚生労働省所管の研究機関です。

さ行

シームレス

異なるサービスを一体化し、スムーズに使えるよう利便性を高める技術や状態のことです。

重層的支援体制整備事業

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、自治体が主体となって包括的な支援体制を構築するための事業です。

新興感染症

これまで国内で想定されていなかった新たな感染症が発生・拡大することです。

スマート農業

AI、IoT、ロボット、ドローン等の先端技術を活用し、作業の省力化・精密化、生産性向上、品質安定化、環境負荷低減等を目指す、データ駆動型の新しい農業の形です。

成年後見制度

認知症・知的障がい・精神障がい等で判断能力が不十分な方を、法律面や生活面で支援し、財産管理や契約行為から保護する制度です。

創業支援事業

町内産業の振興及び地域経済の活性化を図るため、町内で新たに創業又は第二創業を目指す方へ、創業を開始するまでの必要な経費の一部を補助金として交付する制度です。

た行

第三者所有モデル(PPA)

第三者が太陽光発電設備等を設置・所有し、利用者は初期費用なしで発電した電力を購入・利用する仕組みのことです。

第4次産業革命

IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)、ビッグデータの活用によりもたらされる技術革新のことを指します。

脱炭素社会

地球温暖化等につながる「温室効果ガスの排出量ゼロ」を目指す社会を指します。

団塊ジュニア世代

1970年代前半に生まれ、2026年時点で52~55歳になる世代を指します。

戦後復興期に高い出生率を記録した第1次ベビーブームに生まれた世代を「団塊世代」と呼び、その子どもにあたることを示す意味で「ジュニア」という言葉を付けて呼ばれるようになりました。

デジタル田園都市国家構想総合戦略

デジタル田園都市国家構想を実現するために、各府省庁の施策を充実・強化し、施策ごとに2023年度から2027年度までの5か年のKPI(重要業績評価指標)とロードマップ(工程表)を位置づけたものです。

は行

パークアンドライド方式

都市中心部へのマイカー流入を減らすため、郊外の駅やバス停近くの駐車場に車を停め、そこからバスや鉄道等の公共交通機関に乗り換えて目的地へ向かう交通システムのことです。

伴走型相談支援

支援を必要とする個人や家庭、中小企業等に、支援機関や専門家が単なる助言にとどまらず、寄り添い、継続的に関わりながら共に課題解決や目標達成を目指す支援の形態です。

ま行

まちづくり

地域社会の資源をもとに、多様な主体が連携・協力して、身近な住環境を改善し、まちの活力と魅力を高める活動のことです。

まち・ひと・しごと創生法

人口減少と東京一極集中という日本の課題に対応するため、魅力ある地域（まち）の形成、多様な人材（ひと）の確保、魅力的な仕事（しごと）の創出を一体的に推進し、活力ある日本社会を維持・発展させることを目的とした法律です。

松島イノベーションヒルズ

初原地区に整備中の工業団地のことを指します。松島町には、これまで大規模な工業団地がありませんでしたが、新たな産業拠点が誕生することで、さらなる地域経済の活性化が期待できます。

まっしま防災学

東日本大震災の教訓を次世代へ継承し、松島町の中学生が主体となって「減災」や「防災力」を高めるための実践的な地域連携防災教育プログラムです。

メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満に高血圧・高血糖・脂質異常のうち2つ以上が重なり、動脈硬化が進行して心筋梗塞や脳卒中等の重大な病気のリスクが高まる状態です。

わ行

ワット・ビット連携

電力インフラ（ワット：電気エネルギー）と情報通信インフラ（ビット：データ・通信）を別々に整備するのではなく、両者を一体的・効率的に設計・運用する次世代のインフラ構想です。

アルファベット

DX

「Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）」の略で、AI、IoT、ビッグデータなどのデジタル技術を活用し、ビジネスモデル、業務プロセス、組織・企業文化を根本的に変革することです。

GIGAスクール構想

「Global and Innovation Gateway for All（すべての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉）」の略で、児童生徒1人1台の端末と高速ネットワーク環境を整備し、「個別最適化された学び」と「協働的な学び」を実現することで、多様な子どもたちを誰一人取り残さず、資質・能力を育成する文部科学省主導の教育DX（デジタルトランスフォーメーション）です。

GX

「Green Transformation（グリーントランスフォーメーション）」の略で、化石燃料中心の産業・社会構造を、再生可能エネルギー等のクリーンエネルギー中心へ転換し、脱炭素（カーボンニュートラル）と経済成長の両立を目指す変革のことです。

ICT

「Information and Communication Technology」の略で、情報通信技術を活用し、人や社会をつなぐ仕組みのことです。

IoT

「Internet of Things」の略で、「モノのインターネット」を意味し、家電製品・車・建物等、様々な「モノ」をインターネットと繋ぐ技術です。たとえば近年では、家電とインターネットを繋ぐIoTデバイスが一般家庭に普及しています。これは、「電気を付けて」「音楽をかけて」といったように、IoTデバイスに話しかけるだけで家電等の操作をしてくれるものです。

Society5.0

我が国が目指すべき未来社会の姿であり、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く新たな社会です。第5期科学技術基本計画（平成28年1月22日閣議決定）において、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」としてSociety 5.0が初めて提唱されました。

Uターン

地方出身者が進学や就職で都市部へ出て、その後、Uターン（地元へ戻る）、Iターン（出身地ではない地方へ移住）、Jターン（地元近くの地方都市へ移住）という形で、地方へ移り住む動きを指す総称です。

2

計画の策定経過

令和6年度

年月日	項目	内容
令和6年7月26日	第1回まちづくり検討庁内委員会	○松島町長期総合計画及び松島町まちづくり検討委員会について ○これからの長期総合計画策定やまちづくりについて
令和6年8月1日	第1回まちづくり検討委員会	○次期松島町長期総合計画とまちづくり検討委員会について ○自分が知っている「松島町」の共有
令和6年8月23日	第2回まちづくり検討庁内委員会	○行政視点の次期計画の考え方 ○評価シートの記入について
令和6年9月3日	第2回まちづくり検討委員会	○松島町の10年間の振り返りと将来に向けて（1回目）
令和6年9月30日	第1回総合計画審議会	○次期松島町長期総合計画の策定体制 ○アンケート調査について
令和6年10月～11月	第1回町民アンケートの実施	○町民4,500件を対象に実施
令和6年10月16日	第3回まちづくり検討庁内委員会	○評価シートの確認 ○評価シートに伴う各課ヒアリングについて
令和6年10月21日	第3回まちづくり検討委員会	○松島町の10年間の振り返りと将来に向けて（2回目）
令和6年11月18日	第4回まちづくり検討委員会	○分野毎に必要なことの検討
令和6年12月13日	第4回まちづくり検討庁内委員会	○評価シート・ヒアリング結果に基づく分野毎の課題整理 ○基本構想骨子案の検討
令和6年12月20日	第5回まちづくり検討委員会	○町民アンケートの結果について（速報） ○次期松島町長期総合計画骨子案について
令和6年12月25日	第2回総合計画審議会	○町民アンケート実施結果について（速報） ○松島町まちづくり検討委員会実施結果のまとめについて ○次期松島町長期総合計画基本構想骨子案について

令和7年度

年月日	項目	内容
令和7年4月18日	第1回まちづくり検討庁内委員会	○松島町長期総合計画に係る政策及び施策の評価・検証報告書について ○「まちづくりの方向性」における施策（分野）の振り分けについて
令和7年5月13日	第1回まちづくり検討委員会	○令和6年度まちづくり検討委員会の振り返りについて ○令和7年度まちづくり検討委員会の方向性について ○次期長期総合計画「将来像」の検討について
令和7年5月21日	第1回総合計画審議会	○次期松島町長期総合計画の策定状況報告について
令和7年6月12日	第2回まちづくり検討庁内委員会	○「まちづくりの方向性」における施策（分野）の振り分けについて ○既存事業の振り分け作業に係る説明について
令和7年7月23日	第2回まちづくり検討委員会	○基本構想の振り返りについて ○グループワーク：基本計画の検討について（1回目）
令和7年8月20日	第3回まちづくり検討委員会	○グループワーク：基本計画の検討について（2回目）
令和7年9月30日	第3回まちづくり検討庁内委員会	○次期長期総合計画における主要施策ヒアリング
令和7年11月6日	第4回まちづくり検討委員会	○総合計画の構成と「見せ方」の検討
令和7年11月18日	第2回総合計画審議会	○松島町長期総合計画（案）について ○松島町国土利用計画（第五次）（案）について ○松島町過疎地域持続的発展計画（案）について
令和8年2月18日	第3回総合計画審議会	○松島町長期総合計画（案）について ○松島町国土利用計画（第五次）（案）について ○松島町過疎地域持続的発展計画（案）について
令和8年3月26日	第5回まちづくり検討委員会	○前回委員会からの経過及び完成図書について



松島町総合計画審議会



松島町総合計画案の答申



松島町まちづくり検討委員会

3

松島町総合計画審議会

委員区分	氏名	所属団体等	備考
学識経験のある者	阿留多伎 真人	尚綱学院大学 名誉教授	職務代理者
学識経験のある者	君島 智子	聖和学園短期大学 准教授	
学識経験のある者	寺田 賢二郎	東北大学 教授	
学識経験のある者	宮原 育子	宮城学院女子大学・宮城大学 名誉教授	会長
公共的団体等の役員	赤間 三男	松島町スポーツ協会 会長	
公共的団体等の役員	赤間 善弘	松島町農業委員会 会長	
公共的団体等の役員	石田 堅	松島町行政区長会 会長	
公共的団体等の役員	内海 裕	松島町公民館分館長会 会長	分館長会長変更に伴う 委嘱替 ~R7.5.20
公共的団体等の役員	佐藤 孝一	松島町公民館分館長会 会長	分館長会長変更に伴う 委嘱替 R7.5.21~
公共的団体等の役員	今野 勝正	松島町文化財保護委員会 委員長	
公共的団体等の役員	志賀 寧	一般社団法人 松島観光協会 会長	
公共的団体等の役員	高橋 征信	宮城県漁業協同組合松島支所 運営委員	
公共的団体等の役員	遠山 勝雄	社会福祉法人 松島町社会福祉協議会 会長	協議会長変更に伴う 委嘱替 ~R7.11.17
公共的団体等の役員	亀井 純	社会福祉法人 松島町社会福祉協議会 会長	協議会長変更に伴う 委嘱替 R7.11.18~
公共的団体等の役員	高橋 涉	利府松島商工会 会長	
公共的団体等の役員	門傳 太一	仙台農業協同組合松島支店 支店長	
町長が特に必要と 認める者	朱 二太	松島町まちづくり検討委員会 委員長	

注) 敬称略、委員区分毎に50音順
所属団体等は委嘱当時のもの

4

松島町まちづくり検討委員会

委員区分	氏名	所属団体等	備考
町民を代表する者	相澤 裕介	本郷・根廻地区	職務代理者
町民を代表する者	井上 晃子	上竹谷・幡谷地区	
町民を代表する者	岩本 拓磨	高城地区	
町民を代表する者	菊池 規子	初原・桜渡戸地区	
町民を代表する者	櫻井 明日香	北小泉・下竹谷地区	
町民を代表する者	土井 紗織	手樽地区	
町民を代表する者	増田 ゆかり	磯崎地区	
関係団体を代表する者	赤間 拓哉	宮城県漁業協同組合松島支所	
関係団体を代表する者	檜崎 勇裕	利府松島商工会	委嘱替 ~R7.5.12
関係団体を代表する者	石川 勇太	利府松島商工会	委嘱替 R7.5.13~
関係団体を代表する者	佐々木 憲作	松島観光協会（松島地区兼）	
関係団体を代表する者	朱 二太	松島海岸中央商店会（松島地区兼）	委員長
関係団体を代表する者	田村 翔太郎	高城町商業振興会	
関係団体を代表する者	角田 慎太郎	仙台農業協同組合青年部	
関係団体を代表する者	毛利 正史	七十七銀行松島支店	
アドバイザー	阿留多伎 真人	尚綱学院大学 名誉教授	

注) 敬称略、委員区分毎に50音順
関係行政区・所属団体は委嘱当時のもの

松島町長期総合計画

[2026-2035]

令和8年3月

編集・発行：松島町役場 企画調整課

〒981-0215 宮城郡松島町高城字帰命院下一 19 番地の1

TEL：022-354-5702 FAX：022-354-3140

